

「創業・新事業の開拓を目指すお客さまへのサポート」の事例（全40事例）

銀行名	事例名	頁
北海道銀行	「2011ビジネスマッチングin瀋陽」商談会	1
青森銀行	事業価値を見極めた融資手法の拡充	5
青森銀行	(1) 地場産業の育成支援(2) 行政・大学との連携強化	6
青森銀行	(1) 地域ファンド、助成金を活用した創業・新事業支援の強化(2) コンサルティング機能の強化(3) インキュベーション・マネージャーの養成	9
岩手銀行	大学のシーズと民間企業のニーズとをマッチングさせることによる新事業創出支援の取組み-「いわて産学連携推進協議会」(リエゾンI)の活動強化-	11
七十七銀行	ソフト開発会社への事業計画策定支援	13
七十七銀行	塗料製造会社への開発支援および販路拡大支援	14
七十七銀行	PFI事業を活用した宮城県消防学校移転整備事業への取組み	15
荘内銀行	産学官金連携による農業用資材製造会社の新商品開発支援	18
常陽銀行	製造業からの農業参入に対する総合支援	19
筑波銀行	地域ベンチャー企業の育成、支援機能強化	20
筑波銀行	産学官との連携強化	21
筑波銀行	経営相談強化・ビジネスマッチング	22
千葉銀行	外部支援機関を活用した中小企業支援の取組み	23
千葉興業銀行	海外進出県内企業へのサポート	24
千葉興業銀行	「千葉元気印企業大賞」の共催	25
東京都民銀行	診療所の開業支援	26
東京都民銀行	介護施設の開業支援	27
第四銀行	当行上海駐在員事務所の設定(平成23年3月10日)	28
北陸銀行	大学等との連携強化	29
十六銀行	民間ベンチャー支援組織「NOBUNAGA21」によるベンチャー支援	30
三重銀行	三重県農林水産支援セミナーとの共催で「みえの食オンライン商談会」を実施	31
滋賀銀行	ニュービジネスへのサポートに関する取り組み(「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み)	33
京都銀行	「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」を中心としたニュービジネス支援	36
池田泉州銀行	助成金支給	38
池田泉州銀行	当行独自戦略3本部機能を活用した取引先へのサポート	39
紀陽銀行	公立学校法人和歌山県立医科大学と連携した「異業種交流会」の開催	40
紀陽銀行	公的支援策活用セミナーの開催	41
中国銀行	創業・新事業支援	42
中国銀行	農業ビジネスの支援体制強化にむけた取組み	43
山口銀行	コンサルティング機能の発揮に向けた人材育成	44
阿波銀行	あわぎん・東大阪ものづくり商談会	45
阿波銀行	とくしまマルシェ	46
百十四銀行	地元食品業者に対する複合的な支援による地産地消の推進	49
四国銀行	「高知県産業振興計画」との包括協定に基づく取組み	51
筑邦銀行	「中小企業応援センター福岡」の活用による取引先の課題解決支援	52
親和銀行	「フード・アグリアイランド九州2010」「長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会」「長崎・佐世保・雲仙 ゆめ市場 キトラスフェア」の主催・共催・後援	54
肥後銀行	農業分野への新規参入支援	62
宮崎銀行	医業分野の継続的な取組み	63
宮崎銀行	農業分野への継続的な取組み	66

1つの事例が複数の分野に掲載されている場合があります。

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

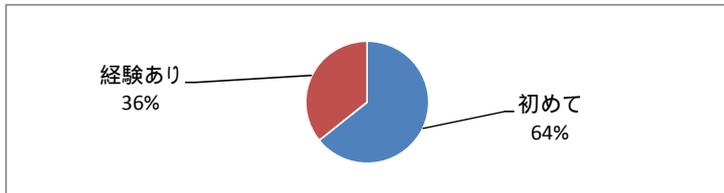
（銀行名 北海道銀行）

タイトル	「2011ビジネスマッチング in 瀋陽」商談会
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国瀋陽で開催される商談会で、当行取引先企業と中国瀋陽市側企業との相互交流の活性化を図るものであり、当行には瀋陽駐在員事務所があり、商談後のフォローも十分対応可能であるため。</li> <li>・「食・寒冷地・環境」をテーマとした輸入、輸出、進出に加えて、今回は東日本大震災により日本国内で品薄になっている製品の中国からの買い（輸入又は調達）ニーズに重点をおいた。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の商談会コンセプトは中国からの買いニーズ（輸入または調達）がある日本企業の情報収集を徹底。また、参加企業には事前に個別相談会を実施し、顧客ニーズを事前に把握し、その内容を以って瀋陽駐在員事務所で中国側参加企業を探した。</li> <li>・顧客ニーズを提示し、時間をかけて中国企業を探すことにより、質のよい中国企業を探すことができ、中国側から日本側への質問なども積極的に行われた。</li> <li>・商談会前には参加企業に商談予定の中国企業の情報を提示し、実績に繋がる商談会になるよう事前準備をした。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内からは15社（商談会には14社参加）が参加、商談会には中国企業が70社参加、商談件数は120件。</li> <li>・参加企業のうちIT関連企業が中国企業との販売代理契約を締結するなどの成果もあり、またその他の参加企業においても継続して中国企業担当者との交渉なども続いている。</li> </ul>

# 2011年度 ビジネスマッチングin瀋陽 アンケート結果

商談会参加社 14 社  
 アンケート枚数 14 枚 (有効 14枚/無効 0枚)  
 アンケート回収率 100.0%

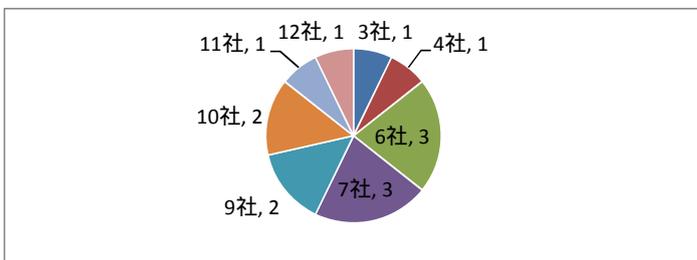
## 1、【海外の商談会、展示会への参加について】



初めて	9
経験あり	5

## 2、【商談相手の来場について】

平均面談数 7.6 件  
 最少面談数 3 件  
 最多面談数 12 件

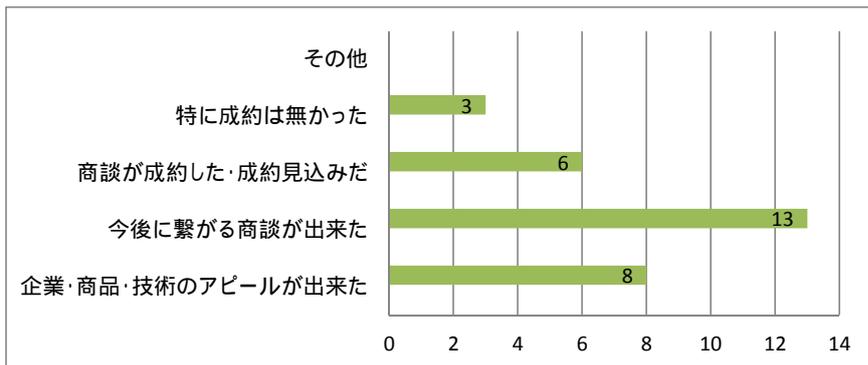


面談数	社数
3社	1
4社	1
6社	3
7社	3
9社	2
10社	2
11社	1
12社	1

## 3、【商談の成果について】

成約件数 1件  
 成約見込み件数 11件

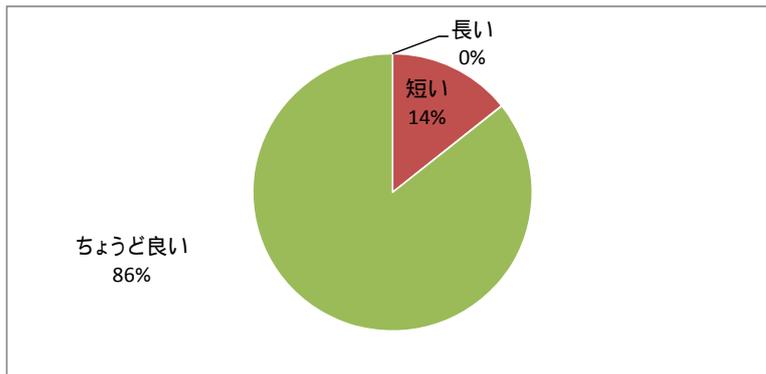
(複数回答可)	(社)	
企業・商品・技術のアピールが出来た	8	57.1%
今後に繋がる商談が出来た	13	92.9%
商談が成約した・成約見込みだ	6	42.9%
特に成約は無かった	3	21.4%
その他		0.0%



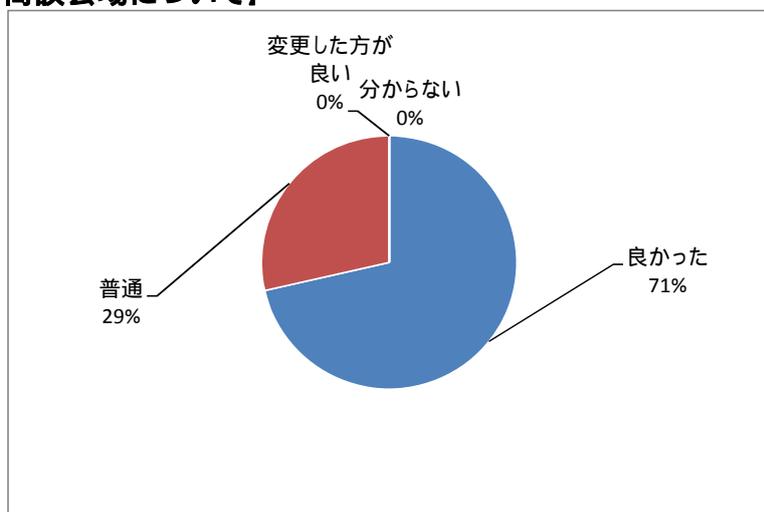
#### 4、【商談時間について】

(社)	
長い	0
短い	2
ちょうど良い	12

平均商談時間 ~ 23分  
 \* 商談時間返答企業 ~ 5社

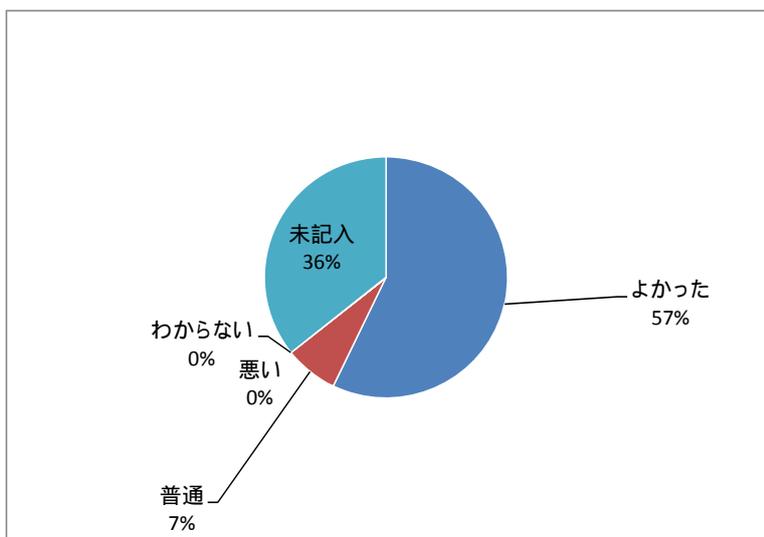


#### 5、【商談会場について】



(社)	
良かった	10
普通	4
変更した方が良い	0
分からない	0

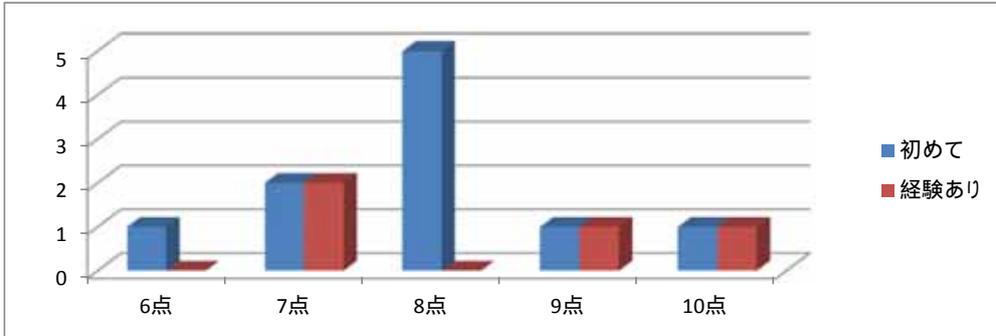
#### 6、【通訳のレベルについて】



よかった	8
普通	1
悪い	
わからない	
未記入	5

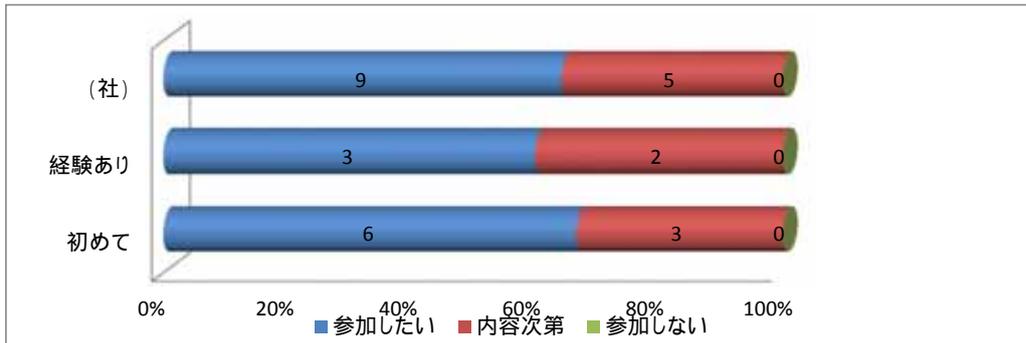
### 7、【今回の商談会に関する満足度について】

	初めて	経験あり	合計	
平均点	7.9	8.0		8 点
最低点	6	7		6 点
最高点	10	10		10 点
(10点満点)	初めて	経験あり	合計	
6点	1	0	1	7.1%
7点	2	2	4	28.6%
8点	5	0	5	35.7%
9点	1	1	2	14.3%
10点	1	1	2	14.3%
計	10	4	14	



### 8、【次回の参加について】

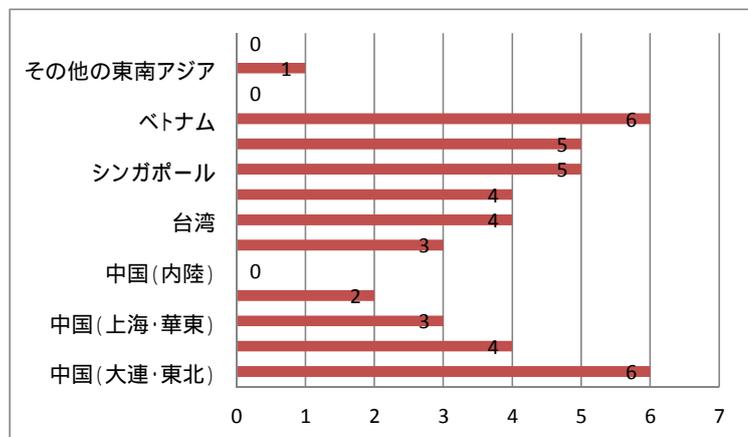
	初めて	経験あり	(社)
参加したい	6	3	9
内容次第	3	2	5
参加しない	0	0	0



### 9、【今後、展示会や商談会の参加を希望する国・地域について(複数回答可)】

	(社)	(地域/顧客数)
中国(大連・東北)	6	42.9%
中国(北京・華北)	4	28.6%
中国(上海・華東)	3	21.4%
中国(広州・華南)	2	14.3%
中国(内陸)	0	0.0%
韓国	3	21.4%
台湾	4	28.6%
香港	4	28.6%
シンガポール	5	35.7%
タイ	5	35.7%
ベトナム	6	42.9%
インド	0	0.0%
その他の東南アジア	1	7.1%
上記以外の国	0	0.0%

(複数回答可)



\* その他の東南アジア …… インドネシア

以上

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 青森銀行）

タイトル	事業価値を見極めた融資手法の拡充
動機（経緯）	不動産担保、個人保証に過度に依存することなく、事業価値を見極める融資手法を拡充する。
取組み内容	<p>【概要】</p> <p>（1）動産・債権譲渡担保等を活用した融資手法への取り組み</p> <p>（2）シンジケートローン、債権流動化の活用</p> <p>（3）A B L（動産担保融資）の活用</p> <p>【具体的取組み内容】</p> <p>（1）不動産担保・個人保証に過度に依存することなく、事業価値を見極める融資手法を拡充する。</p> <p>（2）シンジケートローンなど市場型間接金融手法やA B L（動産担保融資）活用により、資金供給機能を強化する。</p>
成果（効果）	<p>（1）不動産担保・個人保証に過度に依存することなく、事業価値を見極める融資手法の一環として制定した農業者向け融資制度「アグリパートナー」がお客さまに順調に浸透。22年度の取扱実績は、相談件数57件、実行ベースで53件、266百万円となっている。</p> <p>（2）上記「アグリパートナー」を含む、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み実績は、22年度実行ベースで412件、6,461百万円となっている。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 青森銀行）

タイトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>（1）地場産業の育成支援</li> <li>（2）行政・大学との連携強化</li> </ul>
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>（1）アグリ分野への取組み強化</li> <li>（2）地域においてポテンシャルの高い分野への支援体制確立</li> </ul>
取組み内容	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）農業者向け資金供給機能強化</li> <li>（2）食関連業者向け販路拡大支援</li> <li>（3）再生可能エネルギーに関する行政との情報交換</li> </ul> <p>【具体的取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）本部渉外による農業者向け提案型営業の実施</li> <li>（2）NRE（JR東日本グループ）との個別商談会開催</li> <li>（3）地方銀行フードセレクション2010への参加</li> <li>（4）行政機関、大学等との再生可能エネルギーに関する勉強会開催</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>（1）農業者向け資金供給機能強化については、平成21年10月1日発売のあおぎん農業ローン「アグリパートナー」が22年度実績53件/266百万円の実績となる。</li> <li>（2）北東北3行ビジネス商談会をNREを含め5回の個別商談会を開催。また、地方銀行フードセレクション2010についても参加（参加企業10社）し、食産業における販路拡大支援実施。</li> </ul>

# 地場産業の育成支援①（ビジネスマッチング）

## 地場産業の育成支援 ～ビジネスマッチング～



地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

### 【地場産業の育成支援】

当行では、地場産業の育成として北東北3行合同ビジネス商談会「Netbix」や海外販路開拓セミナーを開催し、地域企業の国内外への販路開拓支援を行うことで、ビジネスマッチング業務の展開を推進しております。  
 また、農業者向け専任チームであるアグリパートナーチームを設置し、本部渉外による提案型営業やお客さま向けセミナーを行いお客さまとのリレーション強化を図っております。

### <平成22年度の主な取組み内容>

#### ①ビジネスマッチング機能の強化

開催月	バイヤー企業
22年5月	(株)日本レストランエンタプライズ (JR車内販売)
22年7月	(株)タカヤナギ (スーパーマーケット)
22年7月	(株)ローソン (コンビニエンスストア)
22年11月	イオンSuC(株) (スーパーマーケット)
23年2月	(株)ドゥマン (オンライングルメストア)

【Netbix商談会の開催】  
 (計5回)  
 ◎商談件数合計255件  
 ◎成約件数 93件  
 (23年3月末現在)



#### ②「アグリパートナーセミナー」の開催

「食」関連企業の事業拡大を支援するために、外部専門家を招いたセミナーを開催しております。

開催回数	2回
参加人数	186名



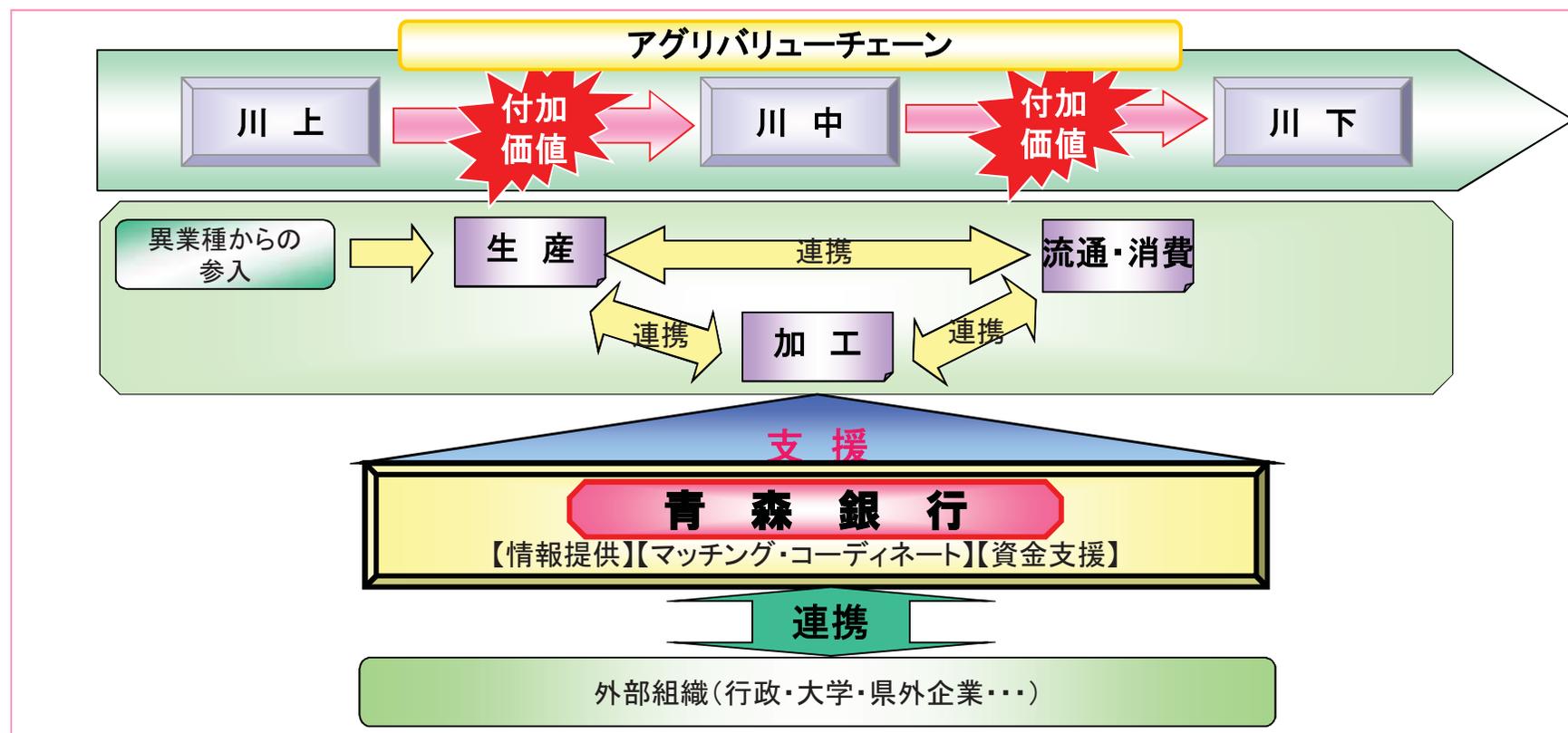
## 地場産業の育成支援②（アグリ分野への取り組み強化）

### 地場産業の育成支援 ～アグリビジネスへの取り組み強化～



#### 青森銀行のアグリビジネス取り組み基本方針

- (1) 県内アグリビジネス関連業種・業者間の連携を強化いたします。
- (2) 農業関連外部機関との連携を強化し、コンサルティング機能を強化いたします。
- (3) 県内農産物の付加価値連鎖を生む「アグリバリューチェーン」の構築を目指し、各業種の業容拡大を支援いたします。



「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 青森銀行）

タイトル	<p>(1) 地域ファンド、助成金を活用した創業・新事業支援の強化                  (2) コンサルティング機能の強化                  (3) インキュベーション・マネージャーの養成</p>
動機（経緯）	<p>(1) 地域ファンド、助成金を活用した創業・新事業支援の強化                  (2) コンサルティング機能の強化                  (3) 地域における創業及び新事業の支援を通して地場産業の育成を図る                  (4) 創業・新事業支援のできる人材の育成</p>
取組み内容	<p><b>【概要】</b>                  (1) 地域ファンド（あおもりクリエイティブファンド）の活用。                  (2) あおぎん地域産業育成助成金「エンジェル」による助成。                  (3) あおもり農商工連携ファンドによる助成。                  (4) コンサルティング機能の強化による、経営相談・情報提供・商談機能の拡充。                  (5) 行政との連携によるインキュベーション・マネージャー研修へ参加</p> <p><b>【具体的取組み内容】</b>                  (1) 地域ファンド（あおもりクリエイティブファンド）を通じ、成長可能性を有する企業へ投資する。                  (2) 助成先を公募の上、あおぎん地域産業育成助成金を交付し地域産業の育成支援を図る。                  (3) あおもり農商工連携ファンドを通じ、新事業に取り組む企業・団体に対し助成金を交付する。                  (4) 外部専門家などと連携した、経営相談・情報提供・商談機能の拡充によるコンサルティング機能の強化を図る。                  (5) 日本インキュベーション協会認定資格取得を通じ、創業・新事業に関するノウハウの蓄積を図る。</p>
成果（効果）	<p>(1) あおもりクリエイティブファンドにおいては、22年度1社/50百万円の投資を実施。累計8社/875百万円の実績となった。                  (2) あおぎん地域産業育成助成金においては、22年度1社/1百万円を助成。                  (3) 農商工連携ファンドにおいては、22年度12先/19百万円を助成。累計で20先/32.8百万円の実績となった。                  (4) 日本インキュベーション協会認定資格試験に2名が合格。</p>

# 地域ファンド、助成金を活用した創業・新事業支援の強化

## 地域ファンド、助成金を活用した創業・新事業支援の強化



### 創業・新事業支援の強化

当行では、地域ファンドを通じて、「成長可能性を有する企業へ出資」や「地場産業の育成支援のための助成」など、創業・新事業支援の取組みを継続しております。

今後も地域における資金供給面での支援はもとより、地域ファンドや助成金を通じた創業・新事業支援を一層強化してまいります。

#### <平成22年度の主な取組み内容>

##### ① あおもりクリエイティブファンドの活用

「地域中小企業応援ファンド」のスキームを用いた全国初の地域ファンドとして平成19年6月に設立し、当行も出資参加しております。

平成22年度実績	1件50百万円
----------	---------

##### ③ あおぎん地域産業育成助成金制度

平成22年度で第14回を迎えました同制度は、県内企業における新技術・新製品および新サービスの研究開発に必要な資金を助成することを目的としております。

平成22年度実績	1社1百万円
----------	--------

##### ② 青森農商工連携ファンド

「農商工連携型地域中小企業応援ファンド事業」を活用し組成したファンドであり、当行も出資参加しております。

本ファンドは県内の農商工連携による新商品開発や販路拡大等の支援のための助成をしております。

平成22年度実績	12先19百万円
----------	----------

##### ④ 創業・新事業支援融資の実績

(平成22年度)

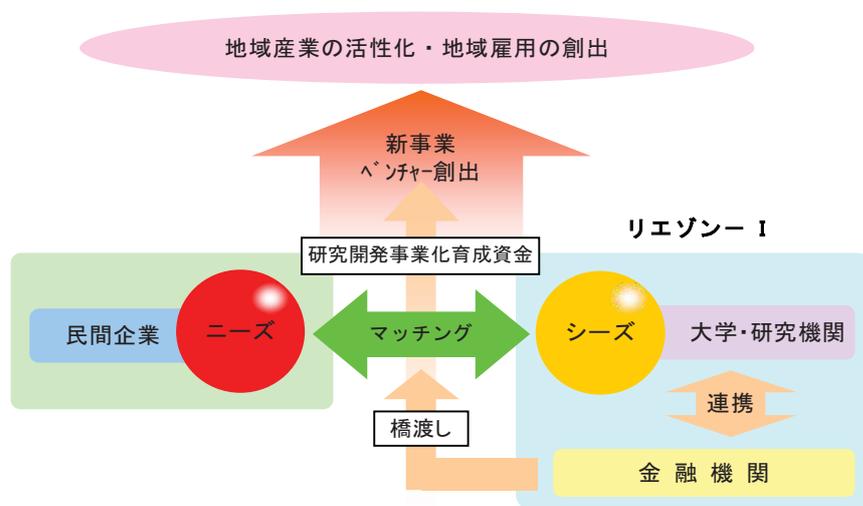
件数	127件
実行額	4,798百万円

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 岩手銀行）

<p>タイトル</p>	<p>大学のシーズと民間企業のニーズとをマッチングさせることによる新事業創出支援の取組 - 「いわて産学連携推進協議会（リエゾン - I）」の活動強化 -</p>
<p>動機（経緯）</p>	<p>（1）平成16年5月に、大学のシーズと民間企業のニーズとをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的として、当行・岩手大学・日本政策投資銀行の三者で「いわて産学連携推進協議会（リエゾン - I）」を設立した。（リエゾンとはフランス語で「つなぎ・橋渡し・絆」の意味で、Iは「I W A T E」のI） （2）活動内容は、大学との共同研究により「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を目指している企業に対する「研究開発事業化育成資金」の贈呈、大学の研究シーズ集の作成、マッチングフェアの開催、などであり、毎年継続している。 （3）平成18年7月には一層の地域貢献に取組む観点から大幅な組織拡大を図り、現在では3つの金融機関と10研究機関が参画する産学官民連携組織となっている。 （4）当組織は、連携規模が岩手県全体に波及するまでに発展したことから、設立を主導した当行がリーダーシップを発揮し当組織の活動に積極的に関与していくことが当行の使命であると認識しており、当行における取引先企業の創業・新事業支援を図るための重要施策と位置付け取組んでいる。</p>
<p>4.取組み内容</p>	<p>（1）参画金融機関による「研究事業化育成資金」の贈呈 （2）研究機関の有するシーズをまとめた「研究シーズ集」の発行 （3）参画研究機関による「マッチングフェア」の開催</p>
<p>成果（効果）</p>	<p>【相手方にとっての成果】 「研究開発事業化育成資金」の助成を受けた中で、商品化され市場化に成功した事例も見られ、新産業創出、研究成果のビジネス化実現に寄与している。 &lt;事例&gt; 平成21年度に育成資金の贈呈を受けた酒造会社は「糖類無添加梅酒」を製品化し販売開始となる。売上良好なことから工場を新設し増産体制を整備することとなり、当行では設備資金調達支援を行った。 【当行にとっての成果】 （1）取組みから8年が経過し、当行の地域貢献の一環として産学官の連携による地元企業育成を目指す当行の姿勢が広く県内に認知された。 （2）育成資金贈呈先の事業化進展に伴う運転資金や新規設備投資に伴う設備資金等に対応することで、融資取引拡大につながっている。</p>

●いわて産学連携推進協議会（リエゾン－I）イメージ図



「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 七十七銀行）

タイトル	ソフト開発会社への事業計画策定支援
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自開発するソフトの開発資金を、ベンチャーキャピタルと交渉中の当行取引先のA社に対し、当行より制度融資（経営革新計画認定による制度融資）の活用による資金調達方法について提案。認定に向けた支援によりA社の資金調達が実現し、自社商品の開発に成功。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先の資金ニーズに対し、制度融資を活用した資金調達スキームを提案。</li> <li>・経営革新計画の認定に向け、当行とベンチャーキャピタルが連携し事業計画策定、資金計画策定を支援。計画について県より認定を受けることに成功し、資金調達が実現した。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同社は、経営革新計画認定による制度融資を活用することで、事業計画および資金計画に則した安定的な資金調達が可能となった。</li> <li>・同社は当該資金調達により、独自の営業支援ソフトの開発に成功した。</li> <li>・取引のないベンチャーキャピタルから投資の依頼があるなど、自社ソフトを開発したことで同社の知名度が向上した。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 七十七銀行）

タイトル	塗料製造会社への開発支援および販路拡大支援
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行の取引先であるB社を訪問した際、独自開発した船底塗料の海外特許を取得したいという情報と塗料を攪拌させる業者紹介のニーズを取得。大学の弁理士、攪拌させる設備を保有している食品加工会社を紹介し、課題を解決。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外特許に精通した大学の知財担当者の紹介による、産学連携を活かした支援を行なうことで、海外特許の取得に成功。</li> <li>・ 宮城県の外部支援機関の情報と、当行取引先の情報を活用した支援により攪拌業者とのビジネスマッチングを支援。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B社は、海外特許を取得できたことで海外への販路拡大が実現した。</li> <li>・ 塗料についても設備投資せずに安定的に調達できるようになり、自社商品の安定供給が可能となった。</li> <li>・ 自社商品の海外特許取得、および販路拡大により同社の知名度が向上した。</li> <li>・ 大学の教授との連携が深まり、継続的に商品開発における技術相談を行うことで、本件とは別の新商品開発にも成功した。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 七十七銀行）

タイトル	P F I 事業を活用した宮城県消防学校移転整備事業への取組み
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県が行うP F I 事業である、宮城県消防学校移転整備事業におけるプロジェクトファイナンスのアレンジャー及び融資金融機関として、当行が本件組成の委託を受け、融資契約等の作成、事業計画の策定支援および資金供給を行ない、消防学校の移転が実現。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当行がアレンジャーとなり、本件P F I 事業の事業主体として、宮城県消防学校の設計、建設及び維持管理、運営等を行う特別目的会社「みやぎ消防パートナーズ株式会社」との間における融資契約等の作成プロセスを支援。</li> <li>・長期間に及ぶP F I 事業の事業計画等の策定を全面的に支援。</li> <li>・P F I 事業への取組み実績を有する当行が、地元金融機関として融資を行うことにより、円滑な資金提供を図った。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県初のP F I 事業に対し、地元金融機関としてアレンジャー及び融資金融機関の立場から支援を実施することで、消防学校の移転が実現。地域の期待に応えることができた。</li> <li>・当行のP F I 事業におけるノウハウを提供する一方で、当行におけるP F I 事業に対する取組み実績の増加を図ることができた。</li> <li>・当行における地域貢献への取組み姿勢を対外的に示す機会を得ることができた。</li> </ul>

平成22年6月28日  
株式会社 七十七銀行

宮城県消防学校移転整備事業（PFI事業）に対する  
プロジェクトファイナンス契約締結について

株式会社七十七銀行（頭取：鎌田 宏）は、宮城県が行うPFI事業である宮城県消防学校移転整備事業（以下、「本事業」といいます。）に対し、下記のプロジェクトファイナンスによる融資契約を締結いたしましたのでお知らせします。

記

1. 事業概要

本事業は、消防学校の施設整備、維持管理・食堂等運営を実施し、本施設が高度かつ専門的な教育訓練に対応するとともに、消防職員の教育・訓練の場として、実践的教育訓練機能の充実を図るために、効率的かつ効果的な整備等を行うことを目的とされています。

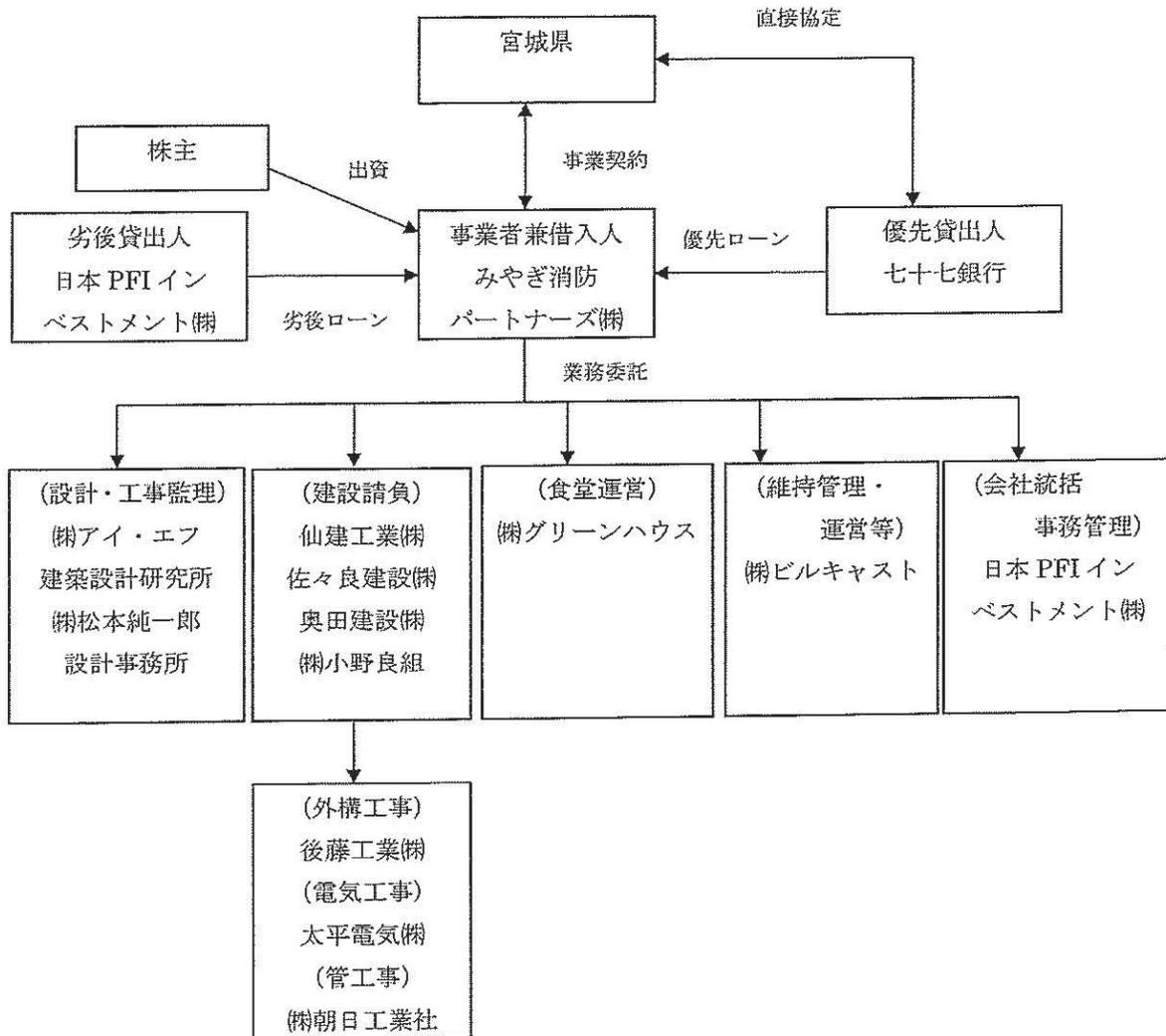
2. 事業主体

本事業の事業主体となる民間事業者は、日本PFIインベストメント株式会社を代表企業とし、仙建工業株式会社、佐々良建設株式会社、奥田建設株式会社、株式会社小野良組、後藤工業株式会社、株式会社ビルキャスト、株式会社グリーンハウス、ライト工業株式会社の出資により設立された特別目的会社（会社名：「みやぎ消防パートナーズ株式会社」）です。みやぎ消防パートナーズ株式会社は、宮城県消防学校の設計、建設及び維持管理、運営等を行います。

3. 融資契約の概要

- |                 |              |                     |
|-----------------|--------------|---------------------|
| (1) 貸付人（アレンジャー） | ：            | 株式会社七十七銀行           |
| (2) 融資金額        | ：            | 建中ローン 950百万円（限度貸付）  |
|                 | ：            | タームローン 880百万円（限度貸付） |
|                 | ：            | 消費税ローン 49百万円（限度貸付）  |
| (3) 契約締結日       | ：            | 平成22年6月8日           |
|                 | （建中ローン初回実行日） | ：                   |

4. 事業スキーム



以上

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 荘内銀行）

タイトル	産学官金連携による農業用資材製造会社の新商品開発支援
動機（経緯）	A社は産学金連携コーディネーター（当行行員）が継続的に訪問している先であり、代表者はじめ多くの従業員と会話する中で、同社が抱える課題を総合的に把握した。そこで、大学の持つ機能を活用することの有効性を提案することで、企業にとっての新事業の展開を後押しした。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形大学農学部と共同研究することで新商品開発を促進し、公設試験場（山形県農業総合研究センター）にて実用試験を実施した。</li> <li>・経営革新計画の策定支援を通じて、経営改善を同時に実施し、新商品開発コスト増による経営リスクを軽減させた。具体的には、ボイラー燃料を従来使用していたA重油から廃タイヤに代替えし、製造工程を見直すことでコスト削減を実現した。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品開発において、大学と共同研究することで、競争優位性の科学的根拠が明確となり、説得力ある営業に効果があった。</li> <li>・新商品開発に伴うコスト増加の中、製造工程（ボイラー燃料）を見直すことでコスト削減効果があった。</li> <li>・経営革新計画が認定され、公的優遇措置を受けられた。</li> <li>・当行としても与信取引の拡大並びに信頼関係の向上に効果があった。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 常陽銀行）

タイトル	製造業からの農業参入に対する総合支援
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県の車載用音響機器の製造メーカーであるA社は、創業40周年を機に社会貢献事業の一環として、地元経済（農業）への貢献施策を検討。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A社からの相談を受けて、当行が開催するアグリセミナーや個別訪問において各種情報提供を実施。情報提供により同社内にて、製造業の生産管理手法が活かせる点や通年栽培が可能であり雇用確保にも繋がる点、行政のバックアップが得やすい点等を理由に、トマト水耕栽培への異業種参入を決定。平成19年には社内ベンチャーとして農業生産法人B社を設立し、平成22年には本格的な生産を開始した。</li> <li>・当行としては、B社とともに事業計画や資金計画の策定サポートも実施。国庫補助金の申請や、残額について日本政策金融公庫の代理貸と当行による協調融資での支援等ファイナンススキームを構築した。</li> </ul>
成果（効果）	<p>【B社にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づき、数多くの障壁を乗り越えて、農業への異業種参入を果たし、地元経済への貢献を果たすことが出来た。</li> <li>・その後も、当行主催の「食の商談会」等に参加し、販路を拡大している。</li> </ul> <p>【当行にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与信取引の拡大、地元農業者からの信頼向上などの効果を得た。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 筑波銀行）

タイトル	地域ベンチャー企業の育成、支援機能強化
動機（経緯）	地域におけるベンチャー企業の育成並びに中小企業の技術開発及び新規事業の展開を支援するため、ベンチャー企業支援強化を図り、地域経済の活性化に取り組む。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出資先の「いばらきベンチャーファンド」では、茨城県等との連携を取り、投資先企業の発掘に取り組んだ。</li> <li>・ フューチャーベンチャーキャピタルが過去に組成した「つくばベンチャーファンド」の投資先企業に対して状況把握を行った。</li> <li>・ 安田企業投資(株)が組成した「安田企業投資4号」へ出資していることもあり、10月より企業の目利き向上と投資スキームを学ぶために1名の出向者を送り、情報交換及び県内ベンチャー企業発掘を行った。</li> <li>・ 医療介護の専門ファンド「アント・ケアビジネス2号」へ平成22年4月と平成23年3月に合計1億円の追加出資を行った。</li> <li>・ 11月に行われたビジネス交流会にベンチャー企業が参加し、参加企業との交流を深めることができた。</li> </ul>
成果（効果）	<p>【相手にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各ファンドの投資実績はファンド設立から平成23年3月期までに「つくばベンチャーファンド」11社、投資金額359百万円、「いばらきベンチャーファンド」12社、投資金額657百万円、「安田企業投資4号」67社、6,119百万円、「アント・ケアビジネス2号」5社、2,426百万円となっている。</li> </ul> <p>【当行にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベンチャー企業に対して、当行内に資金、顧客紹介を中心とした支援サポートする部署（ビジネスソリューション室）が6月に発足し、その存在を周知する事ができた。またベンチャーキャピタルへの出向者を通じて、企業の目利きなどに役立っている。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 筑波銀行）

タイトル	産学官との連携強化
動機（経緯）	取引先中小企業の技術開発および新事業の展開を支援するため、産学官連携を強化し、大学等での研究成果等のシーズと地域中小企業等の技術ニーズとのマッチングをコーディネートする。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携推進のための体制整備 ビジネスソリューション室を中心に、調査広報室、公務渉外室が連携し、筑波研究支援センター、筑波大学リエゾン共同センター、中小企業振興公社等との関係強化を図る体制を整備した。</li> <li>・ビジネス交流会の実施 平成22年11月に開催したビジネス交流会に、筑波大学リエゾン共同センター、筑波研究支援センター、茨城県信用保証協会のブースを設置し、参加企業との商談を実施した。</li> <li>・筑波大学リエゾン共同センターの教授別パンフレットの作成 取引先企業への筑波大学との産学連携のパンフレット配布だけでは十分に取引先の潜在ニーズを顕在化することが困難であるとの課題があり、その対策として、同大学の教授別の「研究テーマ」「連携したい事項」「得意分野」等を、筑波大学産学リエゾン共同センターでとりまとめ、パンフレット（一覧表）を作成する。</li> </ul>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス交流会の商談の実施を通して、取引先のもつ産学官連携に対するニーズを産学官連携先が直接的に把握する機会を提供した。</li> </ul> <p>【当行にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス交流会の商談の実施を通して、取引先のもつ産学官連携に対するニーズを顕在化させるとともに、当行取引先に産学官連携に対する認識を醸成することが出来た。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 筑波銀行）

タイトル	経営相談機能強化・ビジネスマッチング
動機（経緯）	取引先企業とのリレーション強化を図るため、企業間の業務・技術提携等のビジネスマッチングを行い、ビジネス交流会開催により、新たな販路拡大・販売促進を図り、取引先企業の成長を支援していく。
取組み内容	<p>①経営相談機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査情報レポートを配信し、対象となりうる企業へ情報提供を行った。</li> <li>・税理士協同組合との情報交換会及び各支部の例会等への参加。</li> <li>・事業承継提案を通じて経営相談を実施。</li> </ul> <p>②ビジネスマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支店からの情報を本部集約し、マッチング対象となりうる企業へ情報提供を行ない、企業間の商談を行った。</li> <li>・平成22年度のビジネスマッチング実績は136件。</li> </ul> <p>③平成22年度の新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業の支援強化を図るため、平成22年6月より専門部署「ビジネスソリューション室」を発足させた。</li> <li>・ビジネス交流会の開催 平成22年11月19日（金）に筑波銀行本部ビルにてビジネス交流会を開催した。 （参加企業80社・プレゼン及びブース企業11社・商談成立件数161件・継続商談件数146件・参加人員144名）</li> </ul>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス交流会において、商談成立件数161件の内、商談成約数が6社となり、交流会時に行なったアンケート結果では、「希望通りの商談・名刺交換ができた」との回答が8割以上となった。</li> </ul> <p>【当行にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス交流会の開催主旨である「企業間交流の場の提供」をすることができ、ビジネスマッチングにより、取引先の支援強化を図ることができた。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 千葉銀行）

タイトル	外部支援機関を活用した中小企業支援の取組み
動機（経緯）	中小企業の経営者は、新商品の開発や新技術開発、人材育成など様々な経営課題を抱えている。地域金融機関として顧客との長期的な信頼関係を構築し、地域経済の発展に貢献するために、国、県、市、大学、研究機関など外部支援機関を積極的に活用し、これらの経営課題解決支援を行っている。
取組み内容	<p>独立行政法人中小企業基盤整備機構の外部専門家派遣事業の活用に加え、公益財団法人千葉県産業振興センターや地域の商工会議所等との連携により、顧客の経営革新計画の承認取得や農商工連携の認定取得等の支援を実施。</p> <p>産学連携活動においては、従来の千葉大学（国立大）に加え、千葉工業大学（私立大）とも新たに「連携協力に関する協定書」を締結し、顧客の技術相談や共同研究の相談に対し、連携して解決に取り組んでいる。</p>
成果（効果）	<p>【相手方（顧客）にとっての成果】</p> <p>経営革新計画承認取得6件、農商工連携の認定取得3件、6次産業化事業認定取得5件の支援実績あり。一般的に公的支援制度は複雑で、興味は持っているものの活用しきれない企業や、情報不足のため制度の存在そのものを知らない企業もあるなか、本件のような取組みにより経営課題に適した支援機関の紹介を受け活用することができる。</p> <p>【当行にとっての成果】</p> <p>ノウハウ蓄積により顧客のニーズや規模などに応じた様々な支援策の提案が可能となったほか、必要資金の提供を通じて取引関係の強化につながった。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 千葉興業銀行）

タイトル	海外進出県内企業へのサポート
動機（経緯）	千葉県地域資源である農産物の販路拡大を応援するため、海外販路開拓へのサポートを実施。
取組み内容	中国向けの販売事業をサポート。千葉県の「農林水産物輸出促進事業」活用を提案、申請資料の作成補助・審査会へのプレゼンテーション等の支援を実施。又、中国国内での輸入規制等に関する事前調査・情報提供を行いながら検疫・通関・物流などのグランドプラン策定および関係業者との打合せを実施。中国現地デパートにおけるプロモーション活動を帯同し実施。
成果（効果）	現在、農林水産業においては少子化による消費低迷、後継者問題が顕在化しており販路の拡大が大きなニーズとなっており海外への販路拡大の足掛かりとなった。 （現地プロモーション活動で数社との商談実施）

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 千葉興業銀行）

タイトル	「千葉元気印企業大賞」の共催
動機（経緯）	千葉県産業基盤を支える地元・地域企業の発展に役立て、一層の弾みをつけてもらうことを目的として、平成7年に日本工業新聞社と共催で、活力あふれる経営により時代を先取りする中小企業を顕彰する表彰制度として始めたもの。
取組み内容	<p>平成7年に始まった「千葉元気印企業大賞」について、平成22年度（第16回）も共催し、募集・推薦等積極的に実施した。</p> <p>本表彰制度についてはその目的を踏まえ、毎回、優れた技術・サービスを持ち、新技術・新事業に積極的に取り組む中小企業を、銀行を挙げて募集・推薦し、表彰を行った。</p> <p>表彰項目は、優秀製品・サービス賞のほか、優秀技術賞、優秀経営賞、ベンチャー賞、地球環境貢献賞からなり、さらにその中から千葉元気印企業大賞（千葉県知事賞）を選定・表彰している。</p> <p>平成22年度においては、応募33社のうち半数以上となる25社を当行が推薦し、千葉元気印企業大賞も当行からの推薦企業が受賞している。</p>
成果（効果）	<p>独自の技術・サービス等が表彰されることにより、客観的評価を得るとともに、極めて効果的な対外アピールが可能となった。</p> <p>優れた技術・サービスを有する企業との関係強化・拡大により、当行取引基盤拡大に繋がっている。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 東京都民銀行）

タイトル	診療所の開業支援
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内の診療所が、院長高齢・後継者不在のため閉院との情報を入手。</li> <li>・コンサルタント会社から開業を希望する勤務医師の紹介を受け、事業計画の精査や資金調達に協力し開業に至った。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現院長による親身の診療により、当院は地域から信頼を得ていた。</li> <li>・外来患者数が多く、地域から閉院を惜しむ声が上がっていた。</li> <li>・地域になくてはならない医療機関であり患者も多いことから、診療を継続しても採算が取れると思料。当院を承継する医師を探すこととした。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当行は連携するコンサルタント会社に本件を打診、近隣の大学病院に勤務する医師とマッチングし承継に至る。</li> <li>・従来内科専門の診療所であったが、当医師の専門が消化器内科であり、高齢化が進む当該地域の医療ニーズにさらに対応可能となった。</li> <li>・当行にとっても、与信取引先の拡大、地域医師会からの当行医療専門部の認識と信頼の向上などの効果を得ることができた。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 東京都民銀行）

タイトル	介護施設の開業支援
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内の資産家が地域のために役立つように土地を有効活用したいとの情報を入手。</li> <li>・東京都は介護施設の待機者が多いこと、当該地域でも高齢化が進んでいることなどから有料老人ホーム開設を提案し、介護施設の建設に至る。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者人口の推移や近隣の介護施設状況などのデータから市場性があること、当該地域でも介護施設のニーズが高いことを説明。</li> <li>・施設の運営については、実績ある事業者を紹介。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設は地域に対する貢献度が高く、実績ある運営会社を紹介してもらえるなどの点から建設を決定。</li> <li>・当行にとっては、建設資金の融資や介護保険の受皿口座などの預金取引が得られること、また運営会社との関係強化が図られ今後の案件斡旋が期待されるなどの成果があった。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 第四銀行）

タイトル	当行上海駐在員事務所の設立（平成23年3月10日）
動機（経緯）	・課題解決型営業の一環として、当行取引先の中国マーケット進出（新規・既進出先）を積極的にサポートするために設立するもの。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ビジネスマッチングの強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国で開催される商談会の案内、サポート</li> <li>・販売先・仕入先の紹介（ものづくり商談会への共催を検討中）</li> </ul> </li> <li>② 中国事情の情報収集・お客様への情報提供</li> <li>③ 進出サポート（相談、提携コンサルタントの紹介など）</li> <li>④ 新潟県産品のPR、インバウンドなどへの協力</li> </ul>
成果（効果）	<p>【成果】</p> <p>・開所翌日に東日本大震災が発生。開所後の新潟県企業の来所者の訪問延期など影響が出た。</p> <p>そのため3月中は情報源・人脈の形成（中国関係機関、地銀会、提携コンサルタント会社の選定など）と上海近郊の新潟県進出企業の訪問を実施。これにより事務所運営の基盤作りと既進出企業との関係強化を図った。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 北陸銀行）

タイトル	大学等との連携強化
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学や高専との連携を強化して、当行が仲介機能を果たすことで、大学のシーズと企業のニーズを融合し、お取引先の創業、新事業をサポートする</li> <li>・ 当行店舗網地域を担っていく若い世代に対し、金融教育により当行のノウハウを教授し、長期的視点での地域発展に寄与する</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年4月以降で新たに4大学と連携締結。総計で8大学、1高専と連携協定</li> <li>22年6月金沢美術工芸大学、22年9月帯広畜産大学、22年11月小樽商科大学、23年1月金城学園</li> <li>（既提携大学：富山大学、富山県立大学、福井大学、金沢大学、富山高専）</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産学連携ヒアリングシート」を活用した創業、新事業開拓のサポート</li> <li>・ 技術説明会への当行取引先招待による技術移転促進</li> <li>・ ビジスマッチング等を大学と共催、産学連携コーナーにて大学と企業をマッチング（金沢大、富山大、福井大、富山県立大）</li> <li>・ 海外研修派遣（金沢大、富山大）</li> <li>・ 寄付講義、大学とのコラボ講義（金沢大、富山大、金工大）</li> <li>・ 若手研究者助成金（金沢大、富山大）</li> <li>・ 学生と企業の仲介（各大学）</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 十六銀行）

タイトル	民間ベンチャー支援組織「NOBUNAGA21」によるベンチャー支援
動機（経緯）	<p>当行独自の外部ネットワークによる情報提供に加え、当行、野村証券、有限責任監査法人トーマツの三社で構成する「NOBUNAGA21」の様々な機能を活用し、販路・提携先の紹介、助成金制度、プレゼンの場の提供等、個々のベンチャー企業のニーズに応じた支援を行う。</p>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6回ニュービジネスプラン助成金実施（最優秀賞100万円、優秀賞2社10万円）</li> <li>・ 第10回地域活性化セミナー開催</li> <li>・ 「NOBUNAGA21」における有望ベンチャー企業への個別訪問の実施</li> <li>・ 当行取引先に対する有望ベンチャー企業の技術、ノウハウに関する情報提供およびビジネスマッチングの実施</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6回ニュービジネスプラン助成金は20社の応募があり、最優秀賞1社、優秀賞2社を選定。受賞後に、訪問し、ビジネス上のニーズをヒアリング。</li> <li>・ ニュービジネスプラン助成金は、創業期の企業のみならず、新規事業を検討している企業にも本制度の存在が浸透しつつあり、新規取引につながる有効な情報源およびツールとなっている。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 三重銀行）

タイトル	三重県農林水産支援センターとの共催で「みえの食オンライン商談会」を実施
動機（経緯）	三重県産農林水産物や加工物を取扱う事業者に対して、新たな事業展開、販路開拓をサポートする取組を行うため。
取組み内容	オンラインストアを運営する大手小売業者バイヤー（4社）と当行関連会社が運営するインターネット販売サイト担当者に対して、個別に商品提案をできる商談会を開催し、農林水産物の生産、加工、販売を行っている事業者には新たな販路の開拓の機会を提供する取組を行った。
成果（効果）	各バイヤーより参加者に対して、取扱開始の意向が伝えられており、現在商談を開始している。

各 位

2011年8月26日  
株式会社 三 重 銀 行

「平成 23 年度『みえの食』オンラインストア提案会」の開催について  
～三重県産食材の魅力を全国に発信するための機会をご提供します～

株式会社三重銀行(本店:四日市市、頭取:種橋 潤治)と、財団法人三重県農林水産支援センター(松阪市、理事長:中西 正明)は、「平成 23 年度『みえの食』オンラインストア提案会」を下記のとおり開催します。

本イベントは三重県が共催するもので、三重県産食材及びその加工品を取り扱う事業者及び団体のみならず、ネット販売を手がける大手流通業者の食品担当バイヤーとの商談の場を提供するものです。

当行では、このようなビジネスマッチング業務を通じて、地元企業の支援、地域経済の発展に貢献してまいります。

## 記

1. 名 称 平成 23 年度『みえの食』オンラインストア提案会
2. 日 時 2011年10月19日(水) 10時00分～16時30分
3. 場 所 三重県総合文化センター (津市一身田上津部田 1234)
4. 主 催 財団法人 三重県農林水産支援センター  
株式会社 三 重 銀 行
5. 共 催 三 重 県
6. 対 象 者 三重県産農林水産物またはその加工品を取扱う農林水産業者、食品加工事業者、流通販売事業者、飲食・サービス事業者等
7. 参加バイヤー イトーヨーカドー、高島屋、マックスバリュ、松菱、リージョネット三重 他
8. 申 込 方 法 参加を希望する事業者、団体は、三重銀行のお取引部店または下記までお問い合わせください。
9. そ の 他 参加料はいただきません。  
また、参加者に対して、9月22日(木)に事前説明会を開催する予定です。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】  
業務統括部 中尾 TEL (059) 354-7120

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 滋賀銀行）

タイトル	<p>ニュービジネスへのサポートに関する取組み                  （「ネットワークのしがぎん」に関する取組み）</p>
動機（経緯）	<p>・起業への支援活動を一層強化し、新たなビジネスモデルを発掘・支援して地域経済を活性化させるため、「野の花」（ニュービジネス＝新事業）を育成する取組みを行っている。</p>
取組み内容	<p>①しがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業・新事業への支援活動を一層強化するため、滋賀県をはじめとした行政機関、京滋地区の9大学など「産学官・金（金融）」が連携し、地域結集型のニュービジネス支援ネットワークとして起業家の皆さまの活動をサポートする。</li> </ul> <p>②ニュービジネス協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合企画部、営業統轄部、審査部、(株)しがぎん経済文化センター、しがぎんリース・キャピタル(株)から構成される行内を横断する組織。</li> <li>・テクニカルアドバイザーボードによる目利きを受け、当行および当行ファンドが投融資を行う際の審査上の判断材料を提供するとともに、後述⑤⑥の投融資先について現在の事業状況や今後の見通しから対応方針の確認と検討を行う。</li> <li>・検討された対応方針に基づいてファンドアドバイザー等と連携を図り、創業・新事業の開拓についてサポートする。</li> </ul> <p>③エコビジネスフォーラム「サタデー起業塾」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会や情報交換などを通じ、「野の花（ニュービジネス）」の育成を「産学官・金」の連携で支援する「サタデー起業塾」を開催。</li> <li>・平成20年度からは、「エコビジネスフォーラム『サタデー起業塾』」と名称を変更し、テーマを「環境ビジネス」に特化して開催。</li> </ul> <p>④ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サタデー起業塾の受講生の中から、過去5年以内に自社でニュービジネスへの取組みを開始された皆さまを対象に選考のうえ、ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」を贈呈。</li> </ul> <p>⑤しがぎんニュービジネスサポート資金（通称『野の花資金』）の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術の開発や新分野への進出、新規事業の展開を行うのに必要な資金を1社あたり1億円以内で3,000万円以内は原則無担保でご融資を行う。</li> </ul> <p>⑥滋賀ベンチャー4号投資事業有限責任組合の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行としがぎんリース・キャピタル(株)の二人組合で総額5億円の投資フ</li> </ul>

	<p>ファンドを平成 18 年に設立し、投資による資金サポートを行う（当行では同様の投資事業有限責任組合は 4 例目）。</p>
<p>成果（効果）</p>	<p><b>【相手方にとっての成果】</b></p> <p>①技術の目利きや相談などについて、産学官の連携によりサポートを受けていただけることができた。</p> <p>②ファンドアドバイザーの連携により、ビジネスマッチング等のサポートを受けていただけることができた。</p> <p>③平成 22 年度は 177 名が受講、環境分野の最新動向の情報を得ていただけることができた。（平成 23 年 3 月までの卒業生はのべ 1,577 名）</p> <p>④平成 22 年度は 6 社に各 10 万円を贈呈。 （平成 23 年 3 月までの累計は、63 先 630 万円）</p> <p>⑤⑥資金調達だけでなく、ニュービジネス協議会の開催を通じてビジネスマッチング等のサポートを受けていただけることができた。</p> <p><b>【当行にとっての成果】</b></p> <p>①当行の与信判断において、テクニカルアドバイザーリーボードによる目利き評価を取り入れたことにより、当該企業の将来性や技術力をよりの確に把握でき、審査精度の向上にも寄与。</p> <p>①～⑥ これらの活動を通して起業・ニュービジネスのサポートができ、地域金融機関としての役割を果たすことができた。</p> <p>④平成 23 年 3 月までの融資実行累計は 92 件 2,025 百万円。</p> <p>⑤平成 23 年 3 月までの滋賀ベンチャー 4 号投資事業有限責任組合の投資実行累計は 11 先 244 百万円。</p> <p>※なお、平成 22 年度の創業・新事業支援融資は 84 件、1,053 百万円を実行。</p>

～環境(気候変動・生物多様性)をキーワードに今こそニュービジネス創造～

# 『しがぎん』エコビジネスフォーラム2010 サタデー起業塾

shigagin eco business forum 2010

平成22年5月29日～平成23年2月5日(年5回土曜日開催)

- 第1回 平成22年5月29日 土 14:00～18:00 会場●しがぎん草津ビル
- 第2回 平成22年7月24日 土 14:00～17:00 会場●しがぎん草津ビル
- 第3回 平成22年9月4日 土 14:00～17:00 会場●コラボしが21
- 第4回 平成22年11月20日 土 14:00～17:00 会場●しがぎん草津ビル
- 第5回 平成23年2月5日 土 14:00～18:00 会場●しがぎん草津ビル

年会費：一般/20,000円 学生/10,000円

定員：100名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

主催：滋賀銀行「野の花応援団」事務局

お問い合わせ：滋賀銀行 営業統轄部ビジネスサポート室

TEL.077-523-4831 (平日9:00～17:00)

FAX.077-523-4850

『しがぎん』ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.shigagin.com>



「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 京都銀行）

タイトル	「京銀生き生きベンチャー支援ネットワーク」を中心としたニュービジネス支援
動機（経緯）	<p>当行では地元中小・ベンチャー企業の新事業支援を一層推進するため、公的支援機関・専門機関・各種団体・大学等41団体と連携し「京銀生き生きベンチャー支援ネットワーク」を設立し、日常的な個社別支援活動のほか、定期的に会合を開催し様々なビジネス機会の提供を行っている。</p>
取組み内容	<p>（1）日常的な個社別支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業店から取引先企業のニーズを幅広く収集し、内容に応じてビジネスマッチングや公的支援施策等の各種情報の提供、専門家（機関）や大学の紹介、ファンドによる投資等の支援を実施。</li> </ul> <p>（2）会合の定期開催によるビジネス機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度は、以下の通り計3回の会合を開催。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大手企業とのマッチングイベント（22年6月開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>… 大手メーカーや金融機関等で組成する「情報家電パートナーズ（事務局：大阪商工会議所）」と連携し開催（参加者：100名）。地元の中小・ベンチャー企業5社が自社技術や製品についてプレゼンテーションを行った。</li> </ul> </li> <li>○ ビジネスプラン発表会（22年11月開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>… 本ネットワーク会員やベンチャーキャピタル等に対して、地元中小・ベンチャー企業3社が資金調達を目的としたビジネスプランのプレゼンテーションを行った。</li> </ul> </li> <li>○ 産学官金連携セミナー（23年3月開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>… 本ネットワーク会員、取引先企業等81名が参加。大学（京都大学、大阪大学）による産学連携活動の発表、（独）中小企業基盤整備機構による公的支援施策の説明を行い、新事業展開に役立つ産学官連携情報を提供。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
成果（効果）	<p>（1）日常的な個社別支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度中に249件の課題解決サポートを実施。</li> </ul> <p>（2）会合の定期開催によるビジネス機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大手企業とのマッチングイベント（22年6月開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>… 会合後、プレゼン企業各社が大手企業との連携を目指して交渉を行ったが、そのうち1社が現時点でも情報交換を継続中。</li> </ul> </li> <li>○ ビジネスプラン発表会（22年11月開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>… 直接資金調達にはつながらなかったが、発表企業各社とも、参加者より様々な意見を得ることができ、ビジネスプランのブラッシュアップにつながった。</li> </ul> </li> <li>○ 産学官金連携セミナー（23年3月開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>… 参加した取引先企業より16件の連携ニーズを収集し、希望大学との面談を設定。</li> </ul> </li> </ul>

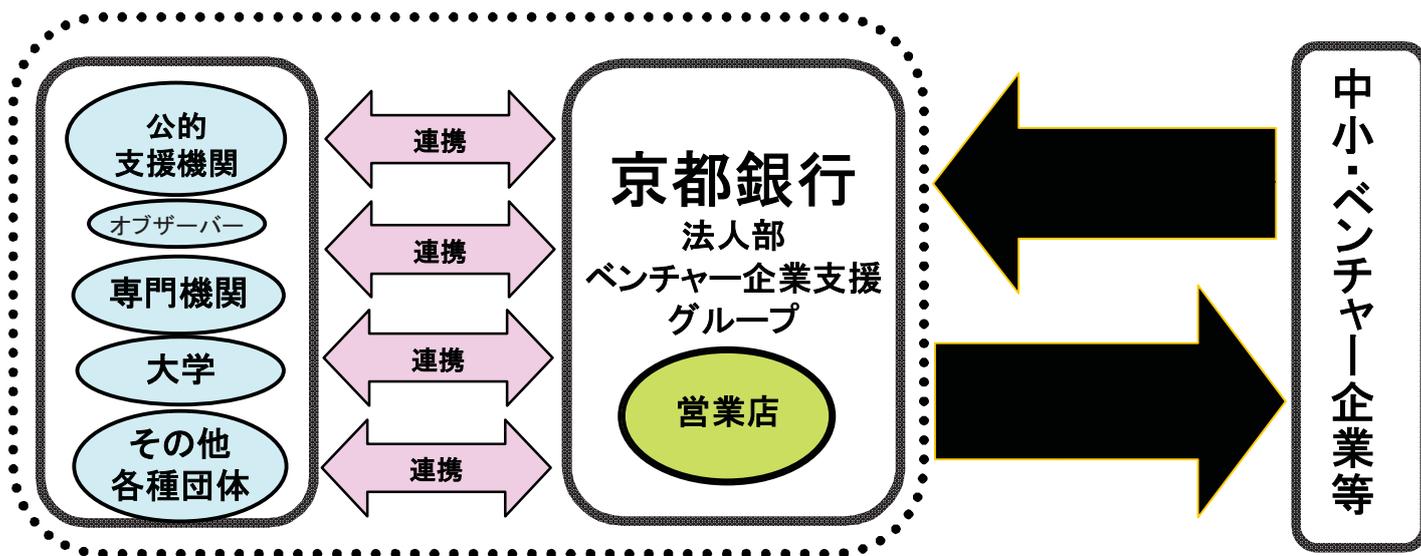
貴社の経営課題解決を強力にサポート！！

# 「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」

をご活用ください。

京都銀行では、地元中小・ベンチャー企業に対する支援を一層推進するため、公的支援機関・専門機関・各種団体・大学等42団体と連携し「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」を設立しております。本ネットワークを通じて各連携機関の支援施策やノウハウを提供することで、経営・技術・営業面等の専門的ニーズに積極的にお応えし、中小・ベンチャー企業の成長をバックアップしてまいります。

## <京銀活き活きベンチャー支援ネットワークスキーム図>



## <ネットワーク会員(連携機関)一覧>

公的支援機関	近畿経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構、財団法人京都産業21、日本政策投資銀行、けいはんな新産業創出・交流センター、財団法人京都高度技術研究所
専門機関	日本アジア投資株式会社、大和企业投資株式会社、日本ベンチャーキャピタル株式会社、大阪中小企業投資育成株式会社、株式会社ジャフコ、監査法人トーマツ、あずさ監査法人、新日本監査法人、京都監査法人、京都リサーチパーク株式会社
その他各種団体	京都商工会議所、大阪商工会議所、社団法人京都工業会、社団法人発明協会京都支部
大学	京都大学、京都工芸繊維大学、京都産業大学、京都造形芸術大学、京都府立大学、京都府立医科大学、京都学園大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、滋賀大学、滋賀医科大学、大阪大学、大阪電気通信大学、大阪工業大学、摂南大学、関西学院大学、神戸大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学
オブザーバー	京都府中小企業技術センター、京都市産業技術研究所

(以上順不同)

## <具体的サポート内容>

### (1) 個別相談

- ・ 中小・ベンチャー企業から随時相談を受け、真にお困りの課題・ニーズに対し、本ネットワークを活用して最適な解決手法を提供します。

### (2) プレゼンテーション

- ・ 中小・ベンチャー企業が直接ネットワーク会員からのサポートが受けられるよう、定期的にネットワーク会員が集まり、中小・ベンチャー企業が事業内容を発表し課題相談ができる場を提供します。
- ・ 中小・ベンチャー企業向けにセミナー等を行ない、各種ネットワーク会員が持つ豊富な支援施策・情報等を提供します。

●お問い合わせ先●  
法人部 ベンチャー企業支援グループ  
(TEL 075-361-2293)

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 池田泉州銀行）

タイトル	助成金支給
動機（経緯）	平成15年4月から、地域起こし策の一環として、ニュービジネス事業・技術開発型事業の積極的な応援・育成を目指し、助成金制度をスタート
取組み内容	<p>① 平成22年度ニュービジネス助成金 平成22年6月 公募開始、応募件数 144件</p> <p>② 平成22年度コンソーシアム研究開発助成金 平成22年10月 公募開始、応募件数 71件</p>
成果（効果）	<p>① 平成22年度ニュービジネス助成金支給実績：13件 10百万円</p> <p>② 平成22年度コンソーシアム研究開発助成金実績：15件 30百万円</p> <p>計 28件 40百万円</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 池田泉州銀行）

タイトル	当行独自戦略3本部機能を活用した取引先へのサポート
動機（経緯）	A社は当行のニュービジネス助成金大賞を受賞した先、半導体ベンチャー企業（フラッシュメモリーのファブレスメーカー）
取組み内容	<p>① 事業に対するサポート</p> <p>製造拠点、販売拠点として東南アジアへの展開ニーズあり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾及び中国にネットワークを持つ大手商社紹介、情報提供実施 (先進テクノ本部)</li> <li>・中国現法設立手続きに関して、現地コンサル会社紹介等情報提供実施 (アジアチャイナ本部)</li> </ul> <p>② 経営者個人に対するサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーナー一族の相続対策の一環として自社株評価実施 (プライベートバンキング本部)</li> </ul>
成果（効果）	中国上海に現地法人（販売拠点）設立予定

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 紀陽銀行）

タイトル	公立学校法人和歌山県立医科大学と連携した「異業種交流会」の開催
動機（経緯）	海外との競合で製品の高付加価値化が求められる中で医療分野、健康分野に活路を模索したものの。
取組み内容	<p>年2回和歌山県と大阪府で交互に交流会を開催し、医工連携や医農連携などテーマを工夫し参加者を集めている。</p> <p>具体的な内容は医大教授からの研究発表、医療機器メーカーからの情報提供など講義形式で行った後に軽食での交流会を開催する。取引先のニーズに合わせ個別相談会も行う。また、域内の大学、高専から理工系教授の参加もあり、連携が広がるよう工夫している。</p>
成果（効果）	<p>平成22年度の参加企業数は48先で地元理工系教授の参加は12名であった。個別相談では直接医師のニーズを聞くことができるなど好評であった。技術相談5件、共同研究4件の実績があった。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 紀陽銀行）

タイトル	公的支援策活用セミナーの開催
動機（経緯）	<p>新事業への進出はコストとリスクが伴うため、公的支援を最大限活用し成長への取組を支援するとともに、取引先が新事業に取り組む意欲を把握する目的で企画。</p>
取組み内容	<p>県および市が中小企業支援策を公募するタイミングに合わせセミナーを開催。採択の可能性がある取組と分かれば、セミナー終了後に個別面談に参加し具体的な手続きを確認する。助成金採択後に共同研究や技術相談が必要な場合は、当行が産学連携や他の企業との共同研究も支援する。</p>
成果（効果）	<p>セミナー参加27社のうち5社8件が採択。セミナーに参加できなかった先に対する個別フォローで9社採択となった。</p> <p>助成金の主旨に合う候補先の発掘から研究開発段階での技術相談先の紹介など、一連の支援を行う役割を県や市から高く評価されている。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 中国銀行）

タイトル	創業・新事業支援
動機（経緯）	地元企業の育成・支援の強化に取り組んでおり、地元ベンチャー企業に出資および融資にて資金支援するもの。
取組み内容	<p>①「企業育成支援制度（投資事業組合）」により、地元ベンチャー企業 1社に投資を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資先は、大学発の医薬品開発ベンチャー</li> <li>・ 同社の増資にあたり、当行の「企業育成支援制度」を活用した投資を検討</li> <li>・ 同社の新規性、将来性および株式公開計画を評価し、出資を決定</li> </ul> <p>②県市町村と連携した創業支援制度を利用し、45件の融資を実施。</p>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>企業の資金調達に寄与するもの。また当行の出資により、今後の資金調達がスムーズになる効果が期待できる。</p> <p>【当行（金庫・組合）にとっての成果】</p> <p>「企業育成支援制度」を活用した投資、および創業支援制度を利用した融資による支援を実施することにより、地域貢献および地元企業の育成に寄与するもの。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 中国銀行）

タイトル	農業ビジネスの支援体制強化にむけた取組み
動機（経緯）	政府の「新成長戦略（7分野）」に掲げられ、異業種からの新規参入など規制緩和が進む農業分野に対し、地域経済の活性化の観点および当行の事業領域拡大を目的にアグリビジネスに対するサポート体制の強化を実施。
取組み内容	<p>○農業者向け融資制度の拡充  「ちゅうぎんアグリサポート（プロパー口）」  「ちゅうぎんアグリサポート（日本政策金融公庫提携口）」  「農業近代化資金（岡山県農業信用基金協会保証付）」  「ちゅうぎんアグリ・メディカルサポート（日立キャピタル提携口）」</p> <p>○農業・食品関連業者の販路拡大支援（商談会の実施）  「地方銀行フードセレクション」の開催</p> <p>○経営相談機能の強化  「農業経営アドバイザー」の資格取得者（6名）設置</p>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種からの農業参入法人に対する設備資金への対応</li> <li>・商談会での商談成立22件</li> </ul> <p>【当行（金庫・組合）にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者向け制度融資4件実施（251百万円実行）</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 山口銀行）

タイトル	コンサルティング機能の発揮に向けた人材育成
動機（経緯）	中期経営計画に掲げる「個人FP力・法人融資力と経営コンサルティング力の強化」により多様化するお客様ニーズに対応し、収益力強化を目指す。
取組み内容	<p>（1）研修・トレーニーの実施、他業種・専門機関等への研修派遣の実施          融資渉外強化研修 ～ （全4回インターバル研修、行内）の実施          審査トレーニー・法人営業トレーニー（行内）の実施          経営コンサルタント養成講座・中小企業診断士養成課程（日本生産性本部）への継続派遣</p> <p>（2）相談能力向上を目的とした公的資格取得の推進          行員の上位職位への昇格条件にFP資格取得を追加</p> <p>（3）自己啓発の推進          通信講座（金融円滑化、アグリビジネス、医療・介護関連他）の採用          休日セミナーの拡充</p>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】          顧客は、研修・トレーニーで専門的な知識を身につけた行員による質の高いコンサルティングを受けることができる。</p> <p>【当行にとっての成果】          （1）平成22年度実施の「融資渉外強化研修 ～ 」受講者（34名）について、必須課題の通信講座「法人融資渉外基礎コース」は全員修了認定となり、一定の知識習得が認められる。          （2）平成23年3月現在のFP資格取得者数は1,146名であり、平成21年度の973名から173名増加しており、堅調な推移が認められる。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 阿波銀行）

タイトル	あわぎん・東大阪ものづくり商談会
動機（経緯）	<p>中小企業にとって、新分野・新規事業への進出、新技術の導入、新規顧客・新規仕入先の開拓は、企業の存続・発展を図るために不可欠である。ものづくりを支える徳島の中小企業を支援するため、平成22年11月25日に、東大阪商工会議所と共同で「あわぎん・東大阪ものづくり商談会」を開催した。</p>
取組み内容	<p>今回の商談会では、徳島県の製造業23社、東大阪市の製造業17社が参加し、1社あたり6～8社の企業と個別面談を実施。商談ブースにおいて、お互いが用意した製品やパンフレットを用いて、自社製品の特徴や技術についてのPRや業界動向についての情報交換を実施した。</p> <p>また、個別商談会終了後は懇親会を行い、参加企業同士の交流を図った。</p>
成果（効果）	<p>この商談会において、新規に開始された共同開発案件が1件、新たな調達先が1件生まれた。</p> <p>また、高い技術力と独自性を持つ東大阪市の企業との商談を通じて、徳島県内企業のビジネスチャンス拡大と、ビジネスネットワークの構築につながることができた。</p>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 阿波銀行）

<p>タイトル</p>	<p>とくしまマルシェ</p>
<p>動機（経緯）</p>	<p>徳島は、野菜や果実・花・畜産物など品質の優れた多種多様な農産物を生産しており、京阪神など大消費地への重要な供給基地として、農業ビジネスのさらなる飛躍へのポテンシャルが非常に高い地域である。</p> <p>「とくしまマルシェ」（マルシェはフランス語で市場）は、農業ビジネスの活性化に加え、県外客の来場による観光の活性化、中心市街地の活性化、という一石三鳥の効果を狙っている。</p>
<p>取組み内容</p>	<p>平成21年5月、当行が全額出資しているシンクタンク「公益財団法人徳島経済研究所」が農業法人等の農業関係者、徳島県、徳島市、金融、流通業界などのメンバーによる「農業ビジネス活性化研究会」を立ち上げ、平成22年6月、「徳島県の農業ビジネス活性化構想」を発表した。この構想の一部を具体化したのが「とくしまマルシェ」である。</p> <p>「とくしまマルシェ」は、徳島県産のこだわりの農産物やそれらの加工品を厳選して集め、徳島市中心部の川沿いにある新町川ボードウォークで、ヨーロッパの朝市のようなお洒落で楽しい雰囲気の中、毎月最終日曜日に生産者が消費者に直接販売している。なお、出店者の選定にあたっては、当行の農業サポートチームから、特徴的な商品の生産者に関する情報提供をしており、銀行との取引→とくしまマルシェへの出店→ビジネスマッチング等の新たな農業ビジネスの創出といった活性化の一連の流れも創出されている。</p> <p>毎回の目玉企画のほか、音楽の生演奏、野菜ソムリエのトークショー、近隣レストランとの連携など様々な内容が盛り込まれ、ブログ・ツイッター、Ustreamによる動画生中継など、ITをフル活用した情報発信を行っている。</p>
<p>成果（効果）</p>	<p>平成22年12月の第1回以降、毎回開催日には平均12千人の来場者で賑わっている。既に、県外からの各種視察や、「とくしまマルシェ」を目的とする観光ツアーが実施されているほか、隣接するエリアで中心商店街のアーケードや公園でも「とくしまマルシェ」に合わせてイベントが開かれるなど、様々な波及効果が生まれている。また、7月には新宿の京王百貨店において「とくしまマルシェ」を開催するなど、「とくしまマルシェ」ブランドは広がりを見せている。</p>

い  
い  
！  
さ  
あ  
！  
や  
あ  
！  
お  
お  
！



<http://tokushima-marche.jp>

行くだけで、元気もらえる。  
【とくしまマルシェ】毎月最終日曜日、  
しんまちボードウォークに開店！

■お問い合わせ先  
とくしまマルシェ事務局  
770-0912 徳島市東新町1-16 VEEビル2F  
Tel 080-4030-7140 Fax 088-657-0052  
mail:parasol@tokushima-marche.jp  
■協賛企業

 **阿波銀行**  Otsuka 大塚化学株式会社  
株式会社アグリベスト

# Tokushima Marché



徳島島の豊かな自然環境のもと大切に育てられた野菜・フルーツ・加工品など、徳島市「しんまちボードウォーク」を舞台に  
至直販売。マルシェスタッフが農家一軒一軒に足を運び、こだわりを持って選んだ自産の逸品を豊富に取り揃え、  
フランスの「マルシェ：市場」のように、街の真ん中で採れたての農産品と生で取り、試食し、出店者との会話も楽しい……  
そんな「行くだけで、元気になれる」場所を創りたいと願っています。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください！

## 楽しい企画も盛りたくさん……

**直送OK「お届けマルシェ」**  
開催当日にマルシェから旬の野菜・フルーツを  
直送OK。お得な「お届けマルシェ詰め合わせ  
セット」(3,000円送料込+クール代別途)の  
限定販売もあり。ネットからもご注文できます。

**元気いっぱい「マルシェ・カフェ」**  
旬の素材を賢沢につかったスイーツ、ジャム、  
ソース、ドリンクなどオリジナル商品を販売。  
新鮮な野菜を活かした料理も美満販売してい  
ます。

**ユーストリームにてライブ中継**  
マルシェの雰囲気や出店者の商品情報、インタビュ  
ー、プレゼント企画などをライブ中継。「とくしまネ  
ットマルシェ」トップページからリンクしています。  
[www.ustream.tv/channel/とくしまマルシェ](http://www.ustream.tv/channel/とくしまマルシェ)

**とくしまネットマルシェ**  
とくしまネットマルシェでは、愛情を持って育てた  
選りすぐりの逸品を紹介し、こだわった収穫方法と  
発送で「つくりて」からお届けする生産者参加型  
のショッピングモールです。



**USTREAM**  
<http://tokushima-marche.jp>  
USTREAM ドメイン  
**tokumarche**



## キッズパルク 両国橋西公園

とくしまマルシェに、子ども達楽しめるプレイングパークがオープン！  
無添加ジュースやオーガニック食品、野菜スイーツ、お絵かき、  
クラフト教室などでのんびり楽しみ、無料のハンモックや、貸し出し絵本、  
積み木を使って親子で遊べる「キッズパルク」、インディアンテントの  
「ティビー」が目印！とくしまマルシェで、また新たな発見を探しに行こう！！



## 街の環境美化にも取り組んでいます

街の景観を守り、マルシェを気持ちよく楽しんでいただく  
ために、清掃活動にも積極的に取り組みます。どなたでも  
お気軽に参加OK。なお、ご参加いただいた方全員に  
「とくしまマルシェ」「徳島わくわく日曜日」でご利用いただける  
「マルシェ・チケット」50ポイント(50円分)をプレゼントいたします。  
清掃開始10:00(11:00終了)  
\*手袋、ゴミ袋、清掃用具はすべて準備いたします。協力JT四国支店



twitter とくしまマルシェ: ID tokumarche  
facebook [www.facebook.com/tokumarche](http://www.facebook.com/tokumarche) 47/68

### アグリベスト



四国の太陽と水もいっぱい育った郷土のやさしさに生まれ、賢大なほど手をかけ、じっくり甘味を詰め込んだ元氣いっぱい育った「夢トマト」です。

### 天野農園

決して教科書通りにはいかない自然と常に向かい合い、長年の経験と勘を生かして梅栽培に取り組む。今では徳島県名産委員農士の異名をとっています。



### あうん亭

すべて手作りのため、一番はじめにすることは徳島県産の名産（鳴門金時）をオープンでじっくり焼き出すこと。焼き芋とスイーツがテト間の味と実感をあ楽しみください。



### 門生でこぼ人園

ある日突然父が盲盲した。[不知火作りだ！]作業工程の一つ一つを履っている作業日記は、私の宝物です。不知火とはでこぼ人の別称でかんまつ類の王様です。



### 東野リキュール

「梅酒特区」認定。夫婦二人が家庭用8L瓶で漬けた、日本で一番小さな酒造場です。



### 福井食品

創業80年。3代目を決意した本場の理由。両親たちが製菓業を始めて2年、「やっぱり、うちのおうどんが食べたくて（笑）」と思い、今も作り続けています。



### 木内農園

自然のバランスをくずさない農産を心がけるよ。鳴門の海のミネラルたっぷり、緑地で作るおいもさんは「ほっこり」としてよー。



### マルチ園

お客様の心に残るイチゴでありたい。その為の努力は惜しまません！「安心・安全・清潔」が Mottoの洗わずそのままパックっといけちゅーイチゴです。



### くゆな農園

高いクワイに肉厚しいだけ、20種類のブルーベリー「ホテルの邸のお山でっべん」で作っています。おいしくなあれとのニコニコ魔法がたっぷりよー。



<http://tokushima-marche.jp>

とくしまマルシェ 検索

### とくしまネットマルシェとは

「関西の食の台所とくしま」と呼ばれる由縁は、豊かな大地と水ときれいな空気が作り出す豊富な食材にあります。とくしまネットマルシェでは、その中でも愛情とこだわりを持って育てた選りすぐりの逸品を紹介し、鮮度にこだわった収穫方法と発送で「つくりて」からあなたの台所へお届けする生産者参加型のショッピングモールです。

### 森の KINOKO

精進に20秒ほど温らせて、ワサビ醤油でおさしみ風に、100%国内産のこだわりの「生さくらげ」を是非一度、味わってほしいです。



### おいしい工房

「自分がいつも食べよるものに、ちょっと変えたらおいしいものを考えよるよ」知識、経験、行動力が備わった無敵のアイデアマン！



### しのみやかまぼこ

毎朝、徳島の海に揚がった小魚だけを使い、合成保存料・化学調味料一切使わず、こだわりの練り物を作りました。



### フルーツガーデン山形

男3人で始まりましたが、情を育てて輝かせる想いで毎日頑張っています。おらんちのイチゴ初収穫（はるに）をよろしくお楽しみください。



### 大住いちご園

大住いちご園の「食べたら笑顔があふれる番」はたっぷり時間・手間・愛情が注がれています。安心・安全はあたりまえ！



### ベジ・キッチン野菜

自ら畑を借りて作った野菜のおいしさに感動！役に立ちたい野菜ソムリエの資格を取得、おいしくバランスのいい食事を提案します！



### 那賀ベジタブル

グリーンなお野菜工場で作る葉もの野菜は農薬未使用。決わらず食べて喜びがなくなるやがな味が特徴です。



### ハ千代製麺

国産小麦100%ではコシのある麺は作れないというセオリーを努力とアイデアで覆した業界のバイオフィアが作る「甲田手延べ麺」！



### コルツファーム

父が飼育している馬たちが戯れているひろを愛護させた増産で作る馬肉。那賀川上流のミネラルウォーターと山間の恵まれた環境が育てるマッシュルームです。



### たむらのタマゴ

毎日着ているジャンパーの背中には「たまごのことなら何でも聞いてください」の文字。鶏をこよなく愛する男が作るたまごです。



### 旭高事

障がいに行動できる平飼い方式で、効率よりもゆっくり豊かに育てています。飼料は「おから」と「米」、糞糞は動物の肥料へと循環させています。



### 川添果樹園

家族4人でこだわりの梨や梅などを栽培しています。ジャムやシロップもすべて園内での手作り！こだわり、加工に選んだ味や食感のものをひとつひとつ選果しベストなタイミングで加工しています。



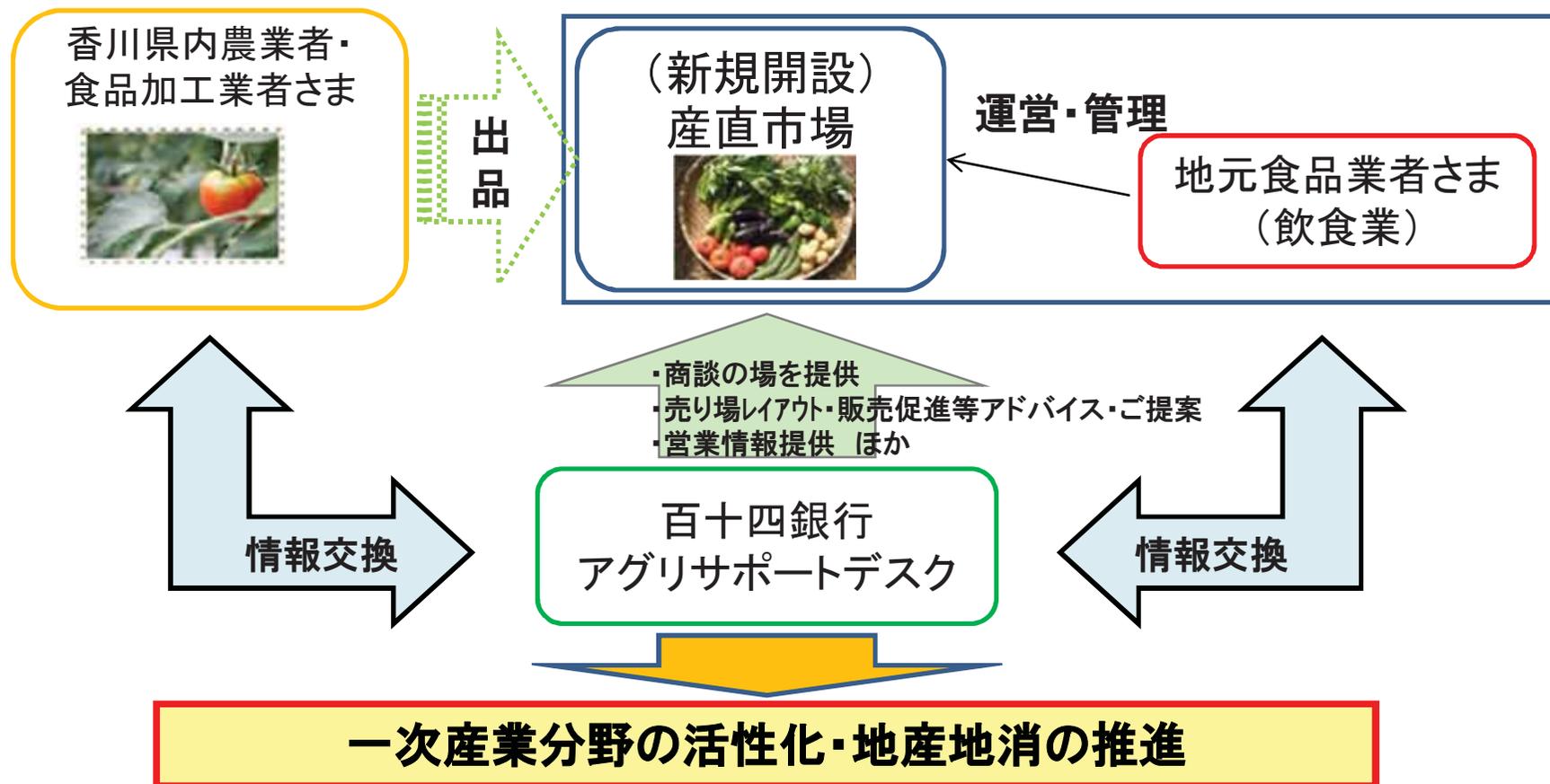
「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 百十四銀行）

タイトル	地元食品業者に対する複合的な支援による地産地消の推進
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元で16店舗を経営する飲食店業者から、地元農家を応援する取組みとして産直市場を開設したいとの相談を受ける。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香川県内農業者・食品加工業者さまとの商談の場を県内3ヶ所で開催（約100件の商談）。</li> <li>・ 売場レイアウトや販売促進に関するアドバイスを当行行員が実施。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産直市場を開設することにより、顔の見える生産者の食材を使った飲食店といった新たなコンセプトが生まれ、本業である飲食店の集客力の向上につながった。</li> <li>・ 地元農家の新たな販売先の確保ができた。</li> </ul>

## 地元食品業者に対する複合的な支援による地産地消の推進

- ✓ 地元食品業者の産直市場開設に関する経営相談を実施しております。
- ✓ 香川県内農業者・食品加工業者さまとの商談の場を県内3カ所で開催（約100件の商談）いたしました。
- ✓ 売り場レイアウトや販売促進に関するアドバイス・ご提案も実施しております。



「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 四国銀行）

タイトル	「高知県産業振興計画」との包括協定に基づく取組み
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行では、県外に多数の店舗を有する当行の強みを活かし、情報力、ビジネスマッチングやコンサルティング機能を活用して、地域経済への貢献を行ってきた。</li> <li>・ 平成22年3月には高知県と産業振興に関する包括協定を締結し、行政と一体となって地域経済の活性化に取り組んでいる。具体的な事例として下記の事案がある。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知県内の有力企業A社が事業の選択と集中の為、海洋深層水事業から撤退を検討。「室戸海洋深層水」は関連を含め120億円を超える売上げがある上、多くの加工食品にも使用されている。有力企業撤退によるブランドイメージ低下は、「食」を切り口に産業育成を図る高知県経済への影響が大きく、高知県と連携し、M&amp;Aによる事業の承継をサポートした。</li> <li>・ 当行はM&amp;A業務の提携先と連携の上、引受企業B社の発掘、交渉を行った。高知県へ初めての進出となるB社に対しても、新会社設立の諸手続き、不動産情報提供等のサポートを行った。</li> <li>・ 「産業振興にかかる包括協定」により、高知県から海洋深層水事業に関するB社の許認可、各種法律への対応等、行政面のサポートを得られ、円滑なクロージングが実現できた。</li> </ul>
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A社はノンコア事業の切り離しにより、主力事業に注力できる態勢整備ができた。</li> <li>・ B社は飲料水ボトリング事業という、新事業進出に繋がった。</li> <li>・ 地域ブランドのイメージ低下を防ぎ、新規企業の参入により、新たなマーケット開拓の可能性を創出できた他、雇用維持にも貢献できた。</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 筑邦銀行）

タイトル	「中小企業応援センター福岡」の活用による取引先の課題解決支援
動機（経緯）	平成22年4月より「中小企業応援センター福岡（※）」の支援機関として久留米商工会議所等と連携を図り、中小企業への専門家派遣やビジネスマッチングなどに取組み、中小企業の課題解決支援を行っている。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年11月、「中小企業応援センター福岡」との共催にて「第3回ちくごビジネス交流会 2010 in KURUME」を開催し、当行取引先35社を含む全70社が参加した</li> <li>・「中小企業応援センター福岡」が実施する専門家派遣事業を活用し、外部専門家を取引先に派遣し、下記のような相談に対応している             <ul style="list-style-type: none"> <li>①新事業展開 ②創業、事業再生及び再チャレンジ ③事業承継</li> <li>④ものづくり支援 ⑤新たな経営手法への取組み</li> </ul> </li> </ul>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス交流会に参加した企業から商談の機会を持つことで、ビジネスチャンスが広がったとの評価を得た</li> <li>・中小企業診断士等の外部専門家による無料経営相談の機会が拡充された</li> </ul> <p>【当行にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(社)中小企業診断協会福岡県支部」と提携し実施している「経営相談については、取引先の経営改善支援についての相談が中心であったが、本事業への参画により、取引先の経営課題に対してより多面的で柔軟な対応が可能となり、取引先との関係強化に繋がった。</li> <li>・「中小企業応援センター福岡」を活用することにより、外部専門家との連携が強化された</li> </ul>



「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 親和銀行）

タイトル	「フード・アグリアイランド九州2010」「長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会」「長崎・佐世保・雲仙 ゆめ市場 キトラスフェア」の主催・共催・後援
動機（経緯）	当行の主要営業エリアである長崎市・佐世保市・雲仙市を中心とした食品関連取引先向けへの商談機会の提供と、同三市への地域貢献・CSR活動を目的に開催。
取組み内容	福岡・東京・大阪を中心にバイヤー26社を招聘し、FFG（当行・福岡銀行・熊本ファミリー銀行）3行で104社の取引先が参加。個別商談は402件、来場者は1,020名であった。
成果（効果）	個別商談結果は5割超で成果がみられ、展示会場におけるフリー商談においても8割以上の参加企業から同様の回答を得た。 また、6割以上の参加企業が「次回以降の参加」を希望している。

# 食の商談会

## フード・アグリアイランド九州2010

### 申込方法

出展の申込方法	別紙の出展申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申し込みください。
出展申込期限	平成22年10月8日(金)
出展費用のお支払い方法	申込書受付後に請求書を送付致しますので、その内容に従いお振込みください。
出展キャンセル	お申し込み後のキャンセルは原則としてできませんので、ご了承ください。

### 出展に関する注意事項

- ① 出展物は開催趣旨・目的に沿ったものを出展してください。  
なお、出展にそぐわないと事務局が判断した場合、ご出展をお断りする場合があります。
- ② 物品の販売は出来ません。ただし、試食は可能です。
- ③ 火気器具等の使用は出来ません。
- ④ 会場で近隣小間に迷惑を生ずるような騒音・悪臭の出る展示は、出来ません。
- ⑤ 給排水が必要な展示物をご遠慮ください。
- ⑥ 電器機材等の貸出は事務局にご相談ください。別途費用が掛かる場合がございますので、予めご了承ください。
- ⑦ 出展内容等について変更があった場合は、至急事務局までご連絡ください。
- ⑧ 出展料等のご請求は後日郵送します。

### 会場案内

- 博多→天神まで  
市営地下鉄にて5分
- 天神駅から徒歩5分



**福岡銀行本店ビル**  
10階・5階

所在地:福岡市中央区天神2-13-1

お申し込み  
お問い合わせ先  
(事務局)

**株式会社FFGビジネスコンサルティング**

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 (福岡銀行本店ビル5階)

**TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258** (担当:稲葉・今泉)

※ご記入いただきましたお客様の個人情報は、福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行、ふくおかフィナンシャルグループ、FFG経営者クラブ、FFGビジネスコンサルティング(事務局)および朝日広告社(委託先)において、本商談会の円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

FFG 福岡フィナンシャルグループ

食の商談会

# フード・アグリアイランド九州2010 出展募集のご案内



日時 **2010年11月18日(木)**  
10:00~17:00 (来場者入場時間/10:00~16:00)

会場 **福岡銀行本店ビル 10階・5階**  
福岡市中央区天神2-13-1 TEL:092-723-2241

主催 福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行  
ふくおかフィナンシャルグループ・FFG経営者クラブ

事務局 FFGビジネスコンサルティング

募集数  
**60社**

申込締切  
10月8日(金)

同時開催

長崎・佐世保・雲仙  
**こだわり食材  
商談会**

食のビジネスチャンス到来!!  
新しいビジネスが始まる。

### 開催にあたって

現在、フード・アグリ業界は、「食の安心、安全」「地産地消」「食育」などで大変関心が高まっています。また、九州において、フード・アグリビジネスは重要な基幹産業の一つとして位置付けられています。

今回の商談会は、昨年ご好評をいただいた「フード・アグリアイランド九州2009」の第2弾として開催いたします。食品関連企業の皆様に、より実りの多いビジネスマッチングの場をご提供出来ますよう努めて参ります。

是非、積極的にご参加いただき販路拡大にお役立ていただけますようご案内申し上げます。

# 食。新しいビジネスが始まる。

## ビジネスチャンス到来!!

### 開催概要

名称	フード・アグリアイランド九州2010
開催日時	平成22年11月18日(木) 10時~17時 (来場者入場時間/10時~16時)
開催場所	福岡銀行本店ビル10階・5階 <small>福岡県福岡市中央区天神2-13-1 TEL.092-723-2241</small>
主催	福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行 ふくおかフィナンシャルグループ・FFG経営者クラブ
事務局	FFGビジネスコンサルティング
募集数	60社 ※お申し込みは、募集数に達し次第締め切りますので予めご了承ください。
内容	ブース展示・フリー商談(10階) / 個別商談会(5階) ※展示会場内での商品販売はできません。
参加料	一般企業 ..... 50,000円(税込) FFG経営者クラブ会員 ..... 20,000円(税込) ※今回、FFG経営者クラブ(年会費26,000円)に加入申し込みいただいた場合は、会員料金とさせていただきます。 ※原則1企業、1ブースとさせていただきます。
同時開催	長崎・佐世保・雲仙こだわり食材商談会(出展予定40社) 主催:長崎市・佐世保市・雲仙市 共催:福岡銀行・親和銀行・ふくおかフィナンシャルグループ

### 募集対象

フード・アグリアイランド九州2010では、バイヤーの方々と商談を希望される次のような商品を取り扱う企業様のご参加をお待ちしています。

- ◎農産物・農産加工品
- ◎焼酎・酒・茶・飲料水
- ◎健康・自然食品・調味料
- ◎水産物・水産加工品
- ◎菓子・パン
- ◎他
- ◎畜産物・食肉加工品
- ◎調理食品・惣菜・麺類

### 来場者

- 商談会では大手百貨店・食品商社・スーパー・ホテル・給食会社・病院・介護施設・レストラン・飲食店等の食品仕入担当者・バイヤーの方々のご来場を予定しています。※一般の方のご来場はございません。
- 事前に事務局側にて設定した個別商談会を実施致します。

### 個別商談会バイヤー(予定)

- ◎伊勢丹
- ◎三越
- ◎阪急阪神百貨店
- ◎東武百貨店
- ◎東急ハンズ
- ◎イオン九州
- ◎イトーヨーカ堂
- ◎伊藤忠食品 他

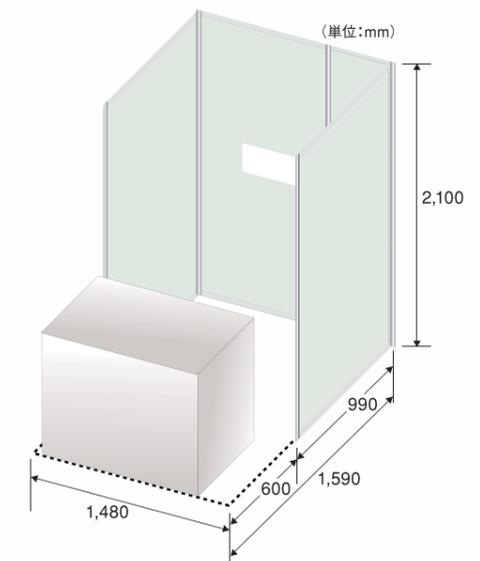


「フード・アグリアイランド九州2009」展示会場

### ブース仕様

- 各ブースにはバックパネル、ブース間には間仕切りパネルを設けます。社名板・テーブル1本(1200mm×600mm)パイプ椅子1脚を装備。
- パネルは、システムパネルを使用のため、押しピン、釘止めは使用できませんが、セロテープは可能です。必要な方は、パネル展示用のフックチェーンを設営時にお貸し出しいたします。

展示に必要な機材には制限がございますので予めご相談ください。



# 長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会

# 長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会

## 出展募集のご案内

### 申込方法

出展の申込方法	別紙の出展申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申し込みください。
出展申込期限	平成22年10月8日(金) ※必着
出展キャンセル	お申し込み後のキャンセルは原則としてできませんので、ご了承ください。

### 出展に関する注意事項

- ① 出展物は開催趣旨・目的に沿ったものを出品してください。  
なお、出展にそぐわないと事務局が判断した場合、ご出展をお断りする場合があります。
- ② 物品の販売は出来ません。ただし、試食は可能です。
- ③ 火気器具等の使用は出来ません。
- ④ 会場で近隣小間に迷惑を生ずるような騒音・悪臭の出る展示は、出来ません。
- ⑤ 給排水が必要な展示物をご遠慮ください。
- ⑥ 電気機材等の貸出は事務局にご相談ください。別途費用が掛かる場合がございますので、予めご了承ください。
- ⑦ 出展内容等について変更があった場合は、至急事務局までご連絡ください。

### 会場案内

- 博多→天神まで  
市営地下鉄にて5分
- 天神駅から徒歩5分



**福岡銀行本店ビル**  
10階・5階

所在地: 福岡市中央区天神2-13-1



**参加費  
無料!!**

※画像はイメージです。

**日時** 2010年11月18日(木)  
10:00~17:00 (来場者入場時間/10:00~16:00)

**会場** 福岡銀行本店ビル 10階・5階  
福岡市中央区天神2-13-1 TEL:092-723-2241

募集数  
**40社**  
申込締切  
10月8日(金)

**主催** 長崎市・佐世保市・雲仙市

**共催** 福岡銀行・親和銀行・ふくおかフィナンシャルグループ

長崎の食品関連企業の  
新たな販路開拓。

**お申し込み  
お問い合わせ先  
(事務局)**

長崎市中小企業振興室	TEL.095-829-1273 FAX.095-832-2567	(担当:山田)
佐世保市企業立地・観光物産振興局	TEL.0956-25-9639 FAX.0956-25-9680	(担当:藤原)
雲仙市観光物産まちづくり推進課	TEL.0957-38-3111 FAX.0957-38-3514	(担当:林田)

※ご記入いただきましたお客様の個人情報は、長崎市、佐世保市、雲仙市、福岡銀行、親和銀行、ふくおかフィナンシャルグループ、FFGビジネスコンサルティング(委託先)および朝日広告社(委託先)において、本商談会の円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

## 開催にあたって

長崎市、佐世保市、雲仙市の3市主催による初の商談会です。

福岡銀行、親和銀行、ふくおかフィナンシャルグループとの共催により、主に福岡都市圏から多くの来場者を呼びこみ、大きなビジネスチャンスを生み出せる商談の場を提供いたします。

新たな販路開拓や商品PR、業界や顧客のニーズを収集するマーケティング活動の場「こだわり食材商談会」に、是非、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 開催概要

名称	長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会
開催日時	平成22年11月18日(木) 10時～17時 (来場者入場時間/10時～16時)
開催場所	福岡銀行本店ビル10階・5階 <small>福岡県福岡市中央区天神2-13-1 FFGビジネスコンサルティング(委託先) TEL.092-723-2241</small>
主催	長崎市・佐世保市・雲仙市
事務局	長崎市/中小企業振興室 TEL.095-829-1273 佐世保市/企業立地・観光物産振興局 物産振興グループ TEL.0956-25-9639 雲仙市/観光物産まちづくり推進課 TEL.0957-38-3111
募集数	40社 (長崎市20社・佐世保市12社・雲仙市8社) <small>※先着順となります。</small>
内容	ブース展示・フリー商談(10階)/個別商談会(5階) <small>※展示会場内での商品販売はできません。</small>
参加料	無料
参加資格	次のいずれかの条件を満たすもの ・3市(長崎市・佐世保市・雲仙市)内に本社又は本店を有する中小企業者等 ・長崎市ブランド振興会会員
募集期間	9月中旬～10月8日(金)
同時開催	フード・アグリアイランド九州2010 (出展予定60社) 主催:福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行 ふくおかフィナンシャルグループ・FFG経営者クラブ

# 長崎の食品関連企業の 新たな販路開拓。

### 募集対象

長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会では、バイヤーの方々と商談を希望される次のような商品を取り扱う企業様(参加資格を有する方)のご参加をお待ちしています。

- ◎農産物・農産加工品
- ◎焼酎・酒・茶・飲料水
- ◎健康・自然食品・調味料
- ◎水産物・水産加工品
- ◎菓子・パン
- ◎他
- ◎畜産物・食肉加工品
- ◎調理食品・惣菜・麺類

### 来場者

- 事前に事務局側にて設定した個別商談会を実施致します。
- 商談会では大手百貨店・食品商社・スーパー・ホテル・給食会社・病院・介護施設・レストラン・飲食店等の食品仕入担当者・バイヤーの方々のご来場を予定しています。 ※一般の方のご来場はございません。

### 個別商談会バイヤー(予定)

- ◎博多大丸
- ◎岩田屋
- ◎福岡三越
- ◎イオン九州
- ◎井筒屋
- ◎東急ハンズ
- ◎イトーヨーカ堂
- ◎伊藤忠食品 他



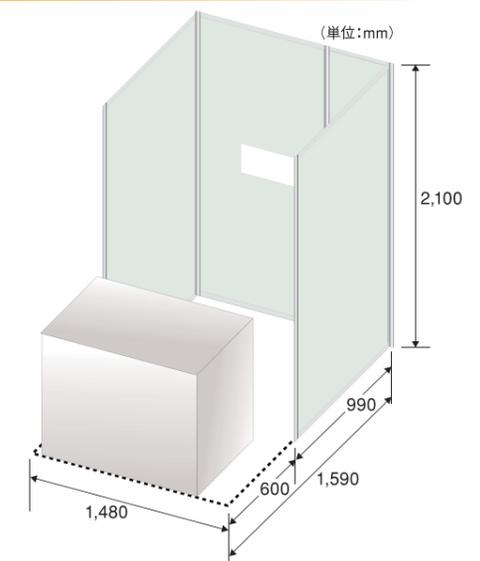
長崎 食のチャレンジ商談会

### ブース仕様

- 各ブースにはバックパネル、ブース間には間仕切りパネルを設けます。社名板・テーブル1本(1200mm×600mm)パイプ椅子1脚を装備。
- パネルは、システムパネルを使用のため、押しピン、釘止めの使用はできませんが、セロテープは可能です。必要な方は、パネル展示用のフックチェーンを設営時にお貸し出します。

展示に必要な機材には制限がございますので  
予めご相談ください。

※冷蔵ケース等の備品の貸出は別途料金が発生します。



食の商談会

# フード・アグリアイランド九州2010

主催 福岡銀行  
熊本ファミリー銀行  
親和銀行  
ふくおかフィナンシャルグループ  
FFG経営者クラブ

事務局 FFGビジネスコンサルティング

出展予定  
**60社**  
食品関連企業

～九州最大級(食品関連企業100社出展)商談会開催～

## 来場のご案内 **入場無料**

日時 **2010年11月18日(木)**  
10:00～16:00

会場 **福岡銀行本店ビル 10階**  
福岡市中央区天神2-13-1 TEL:092-723-2241

内容 **ブース展示・フリー商談**

対象 **食品仕入担当者・バイヤーの方々**

### 食の魅力とこだわりが福岡に大集結。

出展予定  
**40社**  
食品関連企業

## 長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会

主催 **長崎市・佐世保市・雲仙市**

共催 **福岡銀行・親和銀行・ふくおかフィナンシャルグループ**



長崎市



佐世保市



雲仙市

59/68



ふくおかフィナンシャルグループ

# フード・アグリアイランド九州2010 長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会

## 入場無料

来場ご希望の方は、事前にお申し込みが必要となります。

貴社名		業種	
ご住所	〒 -	TEL	
		FAX	
お申込者名 (氏名・役職)			
貴社のお取引銀行・支店名をご記入ください。		お取引銀行	お取引支店
		銀行	支店

※ご来場の際は、お名刺をご持参ください。なお、福岡銀行本店ビルの駐車場はご利用できませんので、予めご了承ください。  
※会場内での商品販売は行っていません。

### フード・アグリアイランド九州2010/出展企業

※順不同  
※出展企業は変更になる場合がございます。予めご了承ください

#### ◎農産物・農産加工品

- 朝倉物産株式会社(福岡)
- 株式会社ニシケン(福岡)
- 日本ブライス株式会社(福岡)
- 吉良食品株式会社(熊本)
- 愛葉ファーム株式会社(長崎)
- 大和通商株式会社(佐賀)
- 株式会社まんでん(佐賀)
- 株式会社嬉野観光ホテル大正屋(佐賀)
- 株式会社三味一心堂(鹿児島)
- ◎水産物・水産加工品
- 株式会社かねふく(福岡)
- 株式会社テンリョウ(福岡)
- 株式会社マリネット(福岡)
- 株式会社やまやコミュニケーションズ(福岡)
- トクスイフーズ株式会社(福岡)
- 日本鮮食株式会社(福岡)
- 福岡商事株式会社(福岡)

- 株式会社高木海藻店(熊本)
- 株式会社西嶋海苔(熊本)
- 大村水産塾グループ(長崎)
- ◎畜産物・食肉加工品
- 株式会社ハマダ(福岡)
- 株式会社福永産業(福岡)
- みやこハム株式会社(福岡)
- 株式会社エヌケーフーズ(佐賀)
- 株式会社ココアフーズ みつせ鶏本舗(佐賀)
- 佐賀冷凍食品株式会社(佐賀)
- 岡崎エッグ都城店(宮崎)
- ◎焼酎・酒・茶・飲料水
- 株式会社伸正 はかた珈琲工房(事業部)(福岡)
- 株式会社紅乙女酒造(福岡)
- 極東ファディ株式会社(福岡)
- 有限会社志も川(長崎)
- ◎菓子・パン・デザート
- イルフォンテ株式会社(福岡)

- 株式会社ASOジャパン(福岡)
- 株式会社MAR(福岡)
- 株式会社クィンボアーズ(福岡)
- 株式会社大成物産 菓子処あさくら堂(福岡)
- 五洋食品産業株式会社(福岡)
- 有限会社長寿庵(熊本)
- 有限会社永田製パン工場(熊本)
- 米白餅本舗(熊本)
- 本村製菓株式会社(佐賀)
- ◎調理食品・惣菜・麺類
- 株式会社ウインズジャパン(福岡)
- 株式会社勝木研二商店(福岡)
- 株式会社カネシマ(福岡)
- 株式会社ニシムラフーズ(福岡)
- 八洋食品株式会社(福岡)
- 株式会社美研(福岡)
- 株式会社マルゼンフーズ(熊本)
- 熊本全日空ホテルニュースカイ(熊本)

- 株式会社山一(長崎)
- 本多製麺有限公司(長崎)
- 株式会社ほんぼ(山口)
- ◎健康・自然食品・調味料・他
- 株式会社庄分酢(福岡)
- 株式会社ドリーム(福岡)
- 株式会社ゆば屋はな花(福岡)
- 日本ウエスコビー株式会社(福岡)
- 平田産業有限公司(福岡)
- ベストアメニティ株式会社(福岡)
- 理研農産化工株式会社(福岡)
- ホシサン株式会社(熊本)
- 株式会社オリゼ本舗(佐賀)
- 株式会社種商(佐賀)
- 丸秀醤油株式会社(佐賀)
- 福山黒酢株式会社(鹿児島)

### 長崎・佐世保・雲仙 こだわり食材商談会/出展企業

※順不同  
※出展企業は変更になる場合がございます。予めご了承ください

#### ◎農産物・農産加工品

- 株式会社ベリーファームさせぼ(佐世保市)
- 堀内商事株式会社(佐世保市)
- 農事組合法人守山女性部加工組合(雲仙市)
- ◎水産物・水産加工品
- 株式会社長崎杉浦(長崎市)
- 有限会社杉永蒲鉾(長崎市)
- 株式会社日野商店(長崎市)
- 合資会社魚住商店(長崎市)
- 長崎漁港水産加工団地協同組合(長崎市)
- 有限会社こば活水産(長崎市)
- 有限会社海産工房梅元(長崎市)
- 長崎さば生産グループ(佐世保市)

- 株式会社長崎清水(雲仙市)
- 太喜丸かんぼこ(雲仙市)
- 有限会社田中鮮魚卸(雲仙市)
- 株式会社ヤマジヨウ(雲仙市)
- ◎畜産物・食肉加工品
- 有限会社明治屋商店(長崎市)
- 長崎県養鶏農業協同組合(長崎市)
- 山中牧場ミルクウェイファーム(佐世保市)
- 株式会社豊味館(佐世保市)
- 株式会社にくせん(雲仙市)
- ◎焼酎・酒・茶・飲料水
- 株式会社スカルバ(長崎市)
- 株式会社前田園(長崎市)

- 有限会社お茶の秋月園(長崎市)
- 梅ヶ枝酒造株式会社(佐世保市)
- 農業生産法人 有限会社長田製茶(雲仙市)
- ◎菓子・パン・デザート
- 株式会社すみや(長崎市)
- 有限会社草加家(佐世保市)
- 有限会社百花亭(雲仙市)
- マルソウ(雲仙市)
- 小浜食糧株式会社(雲仙市)
- ◎調理食品・惣菜・麺類
- 株式会社白雪食品(長崎市)
- 株式会社坂本屋(長崎市)
- 有限会社こじま(長崎市)

- 株式会社サンフリード
- 出津ド・ロさま麺事業部(長崎市)
- 株式会社入来屋(長崎市)
- 有限会社蜂の家(佐世保市)
- 株式会社宇久食品(佐世保市)
- 有限会社増栄丸辻商店(佐世保市)
- 有限会社佐世保バーガー(佐世保市)
- ◎健康・自然食品・調味料・他
- チョーコー醤油株式会社(長崎市)
- ピリーフ・カメラ株式会社(長崎市)
- 有限会社法本胡麻とうふ店(佐世保市)

**来場者** 次の食品仕入担当者・バイヤーの方々のご来場をお待ちしております。

- ◎百貨店 ◎食品商社 ◎スーパー ◎ホテル ◎給食会社 ◎病院・介護施設 ◎レストラン ◎飲食店 等

お申し込み  
お問い合わせ先(事務局)

**株式会社FFGビジネスコンサルティング** TEL.092-723-2241  
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1(福岡銀行本店ビル5階) (担当:稲葉・今泉)

※ご記入いただきましたお客様の個人情報は、福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行、ふくおかフィナンシャルグループ、FFG経営者クラブ、FFGビジネスコンサルティング、長崎市、佐世保市、雲仙市において、本商談会の円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。



長崎・佐世保・雲仙 ゆめ市場

# キトラスフェア

11/18 木 OPEN 10:00 ~ CLOSE 17:30

IN 福岡銀行本店広場

### イベント

オープニングセレモニー 龍踊り 胡弓演奏  
させばYOSAKOI ジャズバンド演奏 他

### 特選物産

角煮まんじゅう 中華菓子  
揚げ蒲鉾 みかん 他

長崎・佐世保・雲仙のたのしいお祭り&こだわり特産品が大集合!



長崎



佐世保

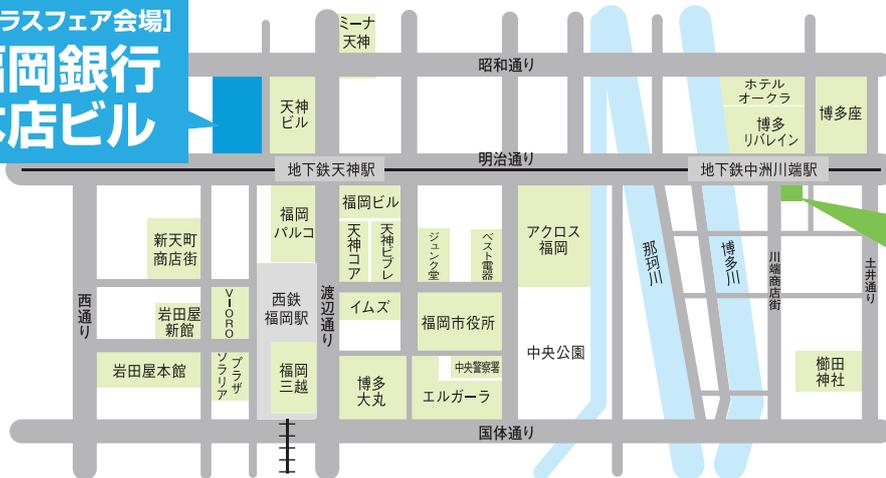


雲仙



※写真はイメージです

【キトラスフェア会場】  
福岡銀行  
本店ビル



3市合同  
アンテナショップ  
キトラス  
OPEN!  
川端商店街入口  
博多座前

主催 佐世保・雲仙・長崎 アンテナショップ協議会

お問い合わせ先

TEL 095-820-6568

後援 親和銀行、福岡銀行、ふくおかフィナンシャルグループ

(佐世保・雲仙・長崎 アンテナショップ協議会事務局)

※イベント・物産販売に関しては変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 肥後銀行）

タイトル	農業分野への新規参入支援
動機（経緯）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊本県の基幹産業である農業の振興・活性化への貢献するため、農業者向け制度融資の取扱や規模拡大に伴う法人化、農業分野への新規参入への支援に注力。</li> <li>・ 経営の多角化、事業拡大、雇用の創出・維持等の理由から農業分野への参入相談が増加傾向。</li> </ul>
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収穫量や生産費等の指標データを活用した事業性の検証など事業計画策定の支援を実施（熊本県と連携）</li> <li>・ 農業への新規参入、雇用創出効果があるため、熊本県の企業等農業参入支援補助金の活用を提案、申請手続きの支援を実施（熊本県と連携）</li> <li>・ 金利面で優遇のある熊本県農業近代化資金の利用を提案し、資金調達の支援を実施</li> <li>・ 生産物の販路拡大支援策として当行主催の商談会への案内を実施（くまもとアグリ・フードフェア 2010 に参加）</li> </ul>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規事業への低利な資金調達</li> <li>・ 補助金受入による投資負担軽減</li> </ul> <p>【当行にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の事業課題に対するソリューションの実践</li> <li>・ 熊本県内で 20 名の雇用を創出したことによる地域貢献</li> </ul>

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 宮崎銀行）

タイトル	医業分野への継続的な取組み
動機（経緯）	宮崎県は全国平均より5年程度早いペースで高齢化が進んでおり、近い将来、県民の3人に1人が高齢者という超高齢化社会の到来が見込まれる。こうした状況を踏まえ、今後更にニーズが見込まれる地元医療（介護）業界を支援、育成することで、地域経済の活性化に資する。
取組み内容	<p>①新規開業サポート 診療圏調査、建設・設計業者紹介、事業計画策定支援、開業地情報提供等</p> <p>②医療機関向けセミナー開催（H22/4）～参加者33名。 医療機関への情報提供や新事業（介護事業）への進出支援セミナーを開催。</p> <p>③みやぎん介護事業支援ファンドの創設（H22/3リリース、4月より取扱開始）</p>
成果（効果）	介護事業への参入支援により、新たな雇用創出にも貢献。

平成 22 年 3 月 31 日

各 位

株式会社 宮崎銀行

## みやぎん介護事業支援ファンドの創設について

株式会社宮崎銀行（頭取 小池光一）は、宮崎県および鹿児島県の介護事業を育成するために、総額 100 億円の「みやぎん介護事業支援ファンド」を創設いたしますのでお知らせします。

全国的に少子・高齢化が進む中で、特に宮崎県は全国平均よりも 5 年程度早いペースで高齢化が進んでいます。本ファンドにより介護事業へ積極的に資金供給することで、介護事業参入を促進し、高齢者の暮らしを支える介護サービス基盤の整備を支援してまいります。

また産業構造の変化に伴い、これまでの業態を見直して介護事業へ進出したり、独立して新たに介護事業を始めるなど、介護分野へ進出する動きが活発化しています。こうした介護事業への参入を支援することで新たな雇用創出にも貢献したいと考えております。

## 記

## 1. ファンド概要

(1) ファンド名	みやぎん介護事業支援ファンド
(2) 形態	貸付
(3) 対象者	宮崎県または鹿児島県に本社もしくは事業所を有する法人および個人の方
(4) 資金使途	以下の取り組みに必要な設備資金・運転資金および同一使途での借換資金 介護保険サービスを提供するのに必要な施設の建設・改修および業務の運営に係る費用 高齢者向け住宅施設（有料老人ホーム・高齢者専用賃貸住宅・高齢者優良賃貸住宅など）の建設・改修費用 上記 ・ の介護事業者への賃貸を目的とした施設の建設・改修費用
(5) ファンド枠	総額 100 億円
(6) 利率	当行基準金利から 0.5%以上の割り引き
(7) 返済方法	資金使途、事業計画などを踏まえ決定
(8) 期間	
(9) 担保/保証人	
(10) サポート体制	介護事業サポートデスクの設置

貸付に際しましては、当行所定の審査を実施させていただきます。

## 2. ファンドの特徴

当行営業支援部内に介護事業サポートデスクを設置し、質の高い介護サービスが提供できるよう、事業運営をサポートいたします。

## 3. 介護事業サポートデスクについて

### (1) 設置の目的

質の高い介護サービスの提供を継続するには、経営の安定が欠かせません。当デスクでは「みやぎん介護事業支援ファンド」のご利用者（ご利用予定者も含む）を対象に事業運営上、必要となる各種サポートを行ないます。

### (2) サポート内容

事業運営サポート	財務面 新事業開始6ヵ月後、12ヵ月後に事業計画書へのモニタリングを行い、問題点や課題解決へのアドバイスをいたします。 運営面 各種セミナー、勉強会の開催
新規開業・事業拡大サポート	市場調査 収支シミュレーション作成 介護保険制度や政策動向の調査 など
資金調達	新規開業、増改築資金 など
その他	事業承継、M & A、退職金制度 介護保険制度等の関連情報調査 など

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社宮崎銀行 営業支援部 担当/ 中西・二宮・中原 (TEL:0985-32-8329)

「地域密着型金融」に関する取組み事例（22年4月～23年3月）

（銀行名 宮崎銀行）

タイトル	農業分野への継続的な取組み
動機（経緯）	地域金融機関として、基幹産業である農業分野に対し、積極的な支援を実施することで、地域経済全体の底上げと安定化を図っていく。
取組み内容	<p>21年7月に創設した総額5.5億円“宮崎ネオアグリファンド”は、宮銀ベンチャーキャピタルが運営を担っており、出資者もオール宮崎で構成された全国初の農業ファンドである。</p> <p>農商工連携や六次産業化、ビジネスマッチング、ブランド化、農業法人化、販路拡大など、的確なソリューションを提供しながら、地域農業経営者の育成、強い農業経営体をつくるべく取り組んでいる。</p>
5. 成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮崎ネオアグリファンド実績 23/3末 5件 320百万円</li> <li>・ 食品関係取引先対象のスキルアップセミナー 38名</li> <li>・ 農業経営者向けセミナー 26名</li> </ul>

平成 21 年 7 月 1 日

各 位

株式会社 宮崎銀行

## 宮崎ネオアグリ投資事業有限責任組合の設立について

宮崎銀行(頭取 小池 光一)は、宮崎県の基幹産業である農業・農業関連業種の発展に寄与するため、『宮崎ネオアグリファンド』を設立致しましたのでお知らせします。

本ファンドにより、長期安定的な資金を供給することで、宮崎県の農畜産業者の方々が安全な農産物生産に専念できる環境を醸成し、また、規模の拡大により産地間競争力の強化を図ることで、消費者に安心・安全な食品を提供していくことに加え、農業を核とした産業を活性化させることによる雇用創出を目的として設立したものです。

本ファンドの特徴は、「地域金融機関が一体」となって地域農業支援に取り組む点であり、農業関連ファンドとしては**全国初の取組**になります。

今後も、当行では地域金融機関および農業関連業種との連携を密にしながら、地域農業発展に貢献していきます。

## 【ファンド概要】

## 1. ファンド名

宮崎ネオアグリ投資事業有限責任組合

## 2. ファンドコンセプト

**地域金融機関および農業関連事業法人が一体**となり、宮崎の農業の発展に貢献する  
農業の範囲：農畜産物生産者・食品加工(製造)業・食品流通(販売)業

## 3. 投資対象先

宮崎県内に本社もしくは事業拠点を有する農業法人、食品加工(製造)業および食品流通(販売)業

## 4. 投資形態

社債・株式・新株予約権・新株予約権付社債

1 社あたりの投資上限額は 200 百万円

## 5. 期間

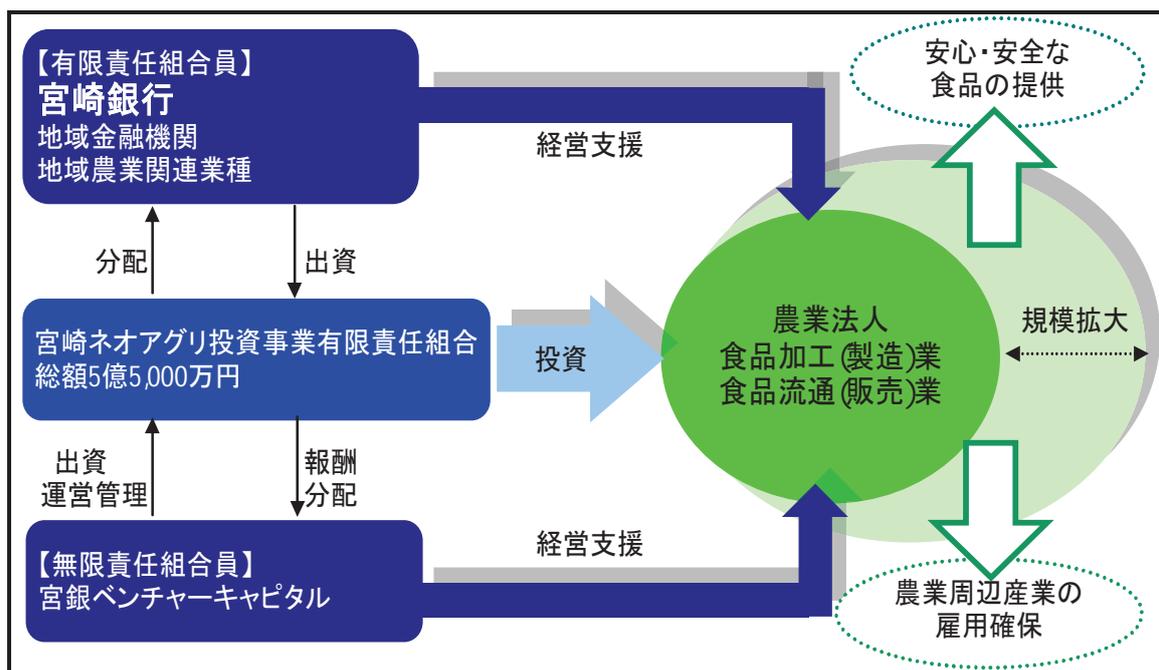
平成 21 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日(8 年間)

6. ファンド規模および組合員

ファンド総額：5億5,000万円

組合員区分	組合員	金額(百万円)
無限責任組合員	宮銀ベンチャーキャピタル	1
有限責任組合員	<b>宮崎銀行</b>	<b>269</b>
有限責任組合員	宮崎太陽銀行	50
有限責任組合員	高鍋信用金庫	50
有限責任組合員	都城信用金庫	30
有限責任組合員	延岡信用金庫	30
有限責任組合員	キング	50
有限責任組合員	雲海酒造	50
有限責任組合員	神楽酒造	20
合計		550

7. ファンドスキーム



【本件に対するお問い合わせ】  
宮崎銀行 営業支援部 有山(0985-32-8329)

